

平成23年度

大阪大学

大学院副専攻プログラム
大学院等高度副プログラム



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

目 次

(副専攻プログラム)

平成23年度 副専攻プログラム一覧	1
平成23年度 大阪大学大学院副専攻プログラムについて	
1.副専攻プログラムとは	2
2.履修対象者	2
3.費用	2
4.履修条件	2
5.プログラムの履修手続について	3
6.「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム(Web)」について	3
7.プログラムのカリキュラムについて	3
8.プログラム提供科目のシラバスについて	4
9.プログラムの修了要件について	4
10.プログラムの修了について	6
11.プログラムの授業科目について	6
12.休講等の通知について	6
13.プログラム実施部局・連携部局について	6
14.大阪大学ホームページでの情報掲載について	7
15.各プログラムの説明会日程等について	7
16.各プログラム紹介	8

(高度副プログラム)

平成23年度 高度副プログラム一覧	11
平成23年度 大阪大学大学院等高度副プログラムについて	
1.高度副プログラムとは	13
2.履修対象者	13
3.費用	13
4.履修条件	13
5.プログラムの履修手続について	14
6.「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム(Web)」について	15
7.プログラムのカリキュラムについて	15
8.プログラム提供科目のシラバスについて	16
9.プログラムの修了要件について	16
10.プログラムの修了について	18
11.プログラムの授業科目について	18
12.プログラムの修得単位について	18
13.休講等の通知について	18
14.プログラム実施部局・連携部局について	19
15.大阪大学ホームページでの情報掲載について	19
16.各プログラムの説明会日程等について	19
17.各プログラム紹介	22

(副専攻プログラム)

平成23年度 副専攻プログラム一覧

	プログラム名称	プログラム実施部局	履修 対象者	ページ
1	認知脳システム学	基礎工学研究科	M・D	8
2	金融・保険	金融・保険教育研究センター	M・D	9
3	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度 学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育副専攻プ ログラム)	ナノサイエンスデザイン教育 研究センター	M	10

※履修対象者

- M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科の博士課程1、2年次・高等司法研究科
- D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科の博士課程3年次以上

平成23年度 大阪大学大学院副専攻プログラムについて

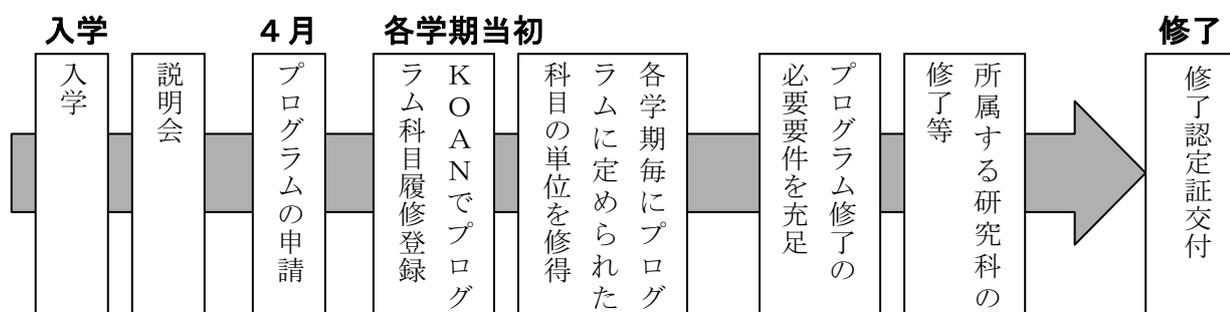
1. 副専攻プログラムとは

刻々と変化する社会情勢に対応するためには、主専攻の修得はもちろんのこと、主専攻と異なる視点を持つ、学際的な視点を持つ、あるいは俯瞰的な視点を持つことが求められています。副専攻プログラムは、このような複眼的視野の涵養のため、教育目標に沿って、主専攻に準ずるまとまりのある高度な専門的素養又は幅広い分野の素養を培うためのプログラムです。

プログラム毎に定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了（修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。）する際にプログラムの修了認定証が交付されます。

平成23年度は、3つのプログラムが開設されます。

プログラム修了までの流れ



2. 履修対象者

大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く）

3. 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

4. 履修条件

大阪大学大学院の課程に在学していることが必要です。その他、プログラム毎に履修条件や履修者数の制限を設ける場合もありますので、個々のプログラムの説明を参照してください。履修制限のないプログラムについては、所属する研究科・学年を問わず履修することができます。

なお、複数のプログラムを同時に履修することも可能です。

ただし、「博士前期課程・修士課程」と「博士後期課程・博士課程」とでは、履修できるプログラムが異なりますので、詳細はプログラム一覧（1ページ）で確認してください。

5. プログラムの履修手続について

プログラムの履修手続としては、「プログラムの申請」と「プログラム科目の履修登録（KOANでの登録）」の両方を行う必要があります。

プログラムの申請は、Webを使用して行うプログラムと申請書の提出にて行うプログラムがあります。Webによる申請については、各学期の始めにKOAN掲示板にて、申請書の提出による申請については、各プログラムが発行する冊子にてお知らせします。

プログラム科目の履修登録（KOANでの登録）は、学期毎にKOANを使用して当該学期に履修する授業科目について、所属する研究科で設定している履修登録期間内に行ってください。

その他、プログラムによっては、KOANの履修登録以外に年度当初又は学期毎に履修するプログラム科目の申請が必要な場合もあります。各プログラムの指示に従ってください。

下記の副専攻プログラムについては、以下のとおり申請手続や履修にあたっての注意事項がありますので、熟読のうえ手続等を行ってください。

ページ	プログラム名称	申請手続等に関する注意事項
9	金融・保険	対象者は、平成23年度以降に大阪大学内のいずれかの大学院の博士前・後期課程に入学し、在学中の方に限定します。 平成22年度以前に入学した方は「高度副プログラム（金融・保険）」を御覧ください。

6. 「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム（Web）」について

様々なプログラムの中から、学びたい「知」や将来の進路等希望に合ったプログラムや授業科目をガイドし、プログラムの受講申請を行う機能を持ったWebシステムとして、「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム (<https://idiscp.osaka-u.ac.jp/gakusai/>)」があります。本システムでプログラム構成科目の時間割やシラバスを参照・比較することができ、履修計画を立てることができます。

なお、本システムへは直接URLアドレス入力の外、下記サイトからリンクしています。

- ①KOANトップページ<左メニュー>
- ②阪大ポータルトップページ<「学生ページ1」の大阪大学Webサービスリンク集>
- ③学際融合教育研究センターHP (<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/gakusai/>) <左メニュー>

7. プログラムのカリキュラムについて

プログラム毎に提供する授業科目や修了要件単位数が決まっています。プログラムの提供する科目は、プログラム実施部局や連携部局等で開講する授業科目から構成されています。本冊子には、プログラムのカリキュラムについては記載していませんので、興味のあるプログラムについてはホームページ等を参照してください。

8. プログラム提供科目のシラバスについて

プログラムの提供する科目のシラバスは、各プログラムが発行する冊子等を参照するかKOANのシラバスを検索してください。

9. プログラムの修了要件について

プログラム毎に修了要件に違いがあります。本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたりコースを選択するなど条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介冊子等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に最低7単位は、当該プログラムの単位として修得する必要があります。専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認してください。

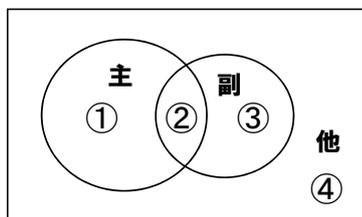
また、複数のプログラムを履修する場合は、それぞれのプログラムの修了に必要な単位の重複は認められます。

【注意】

プログラムで定める授業科目をプログラムの申請以前に履修している場合は、既に修得している単位がプログラムの修了要件単位として認定されることがあります。詳細については各プログラムに問い合わせてください。

《大学院副専攻プログラムの修了要件》

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



- ①…研究科の修了要件科目 の単位
- ②…研究科の修了要件科目 かつ 副専攻プログラム科目 の単位
- ③…副専攻プログラム科目 の単位
- ④…研究科の修了要件 [外] 科目 かつ 副専攻プログラム [外] 科目 の単位

研究科の修了要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

条件1：副専攻プログラムの修了要件単位を満たすこと。

条件2：『①+②+③≥(A)+7』を満たすこと。(博士前期課程で(A)=30の場合、「37単位以上」)
副専攻プログラム科目の単位と、所属している研究科の修了要件単位との重複は認められるが、研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に**最低7単位は、当該副専攻プログラムの単位として修得**することが必要。

(注：副専攻プログラム科目を研究科の修了要件として認めるかどうかの可否は各研究科の判断による。)

条件3：大学院を修了すること。(修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。)

《大学院副専攻プログラムの修了に必要な単位について》

●履修例

研究科の修了要件単位数 : 30単位
 プログラム修了要件単位数 : 14単位 } の場合

◎凡例



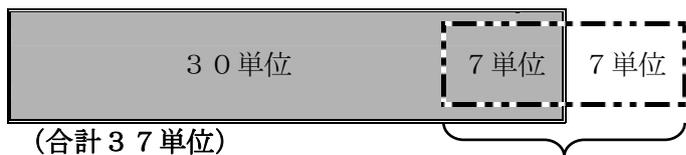
① 修得単位【プログラム修了要件単位(14単位)】が、すべて研究科修了要件の修得単位と重複しない場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位(7単位以上)が含まれている。

※14単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 (すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。)

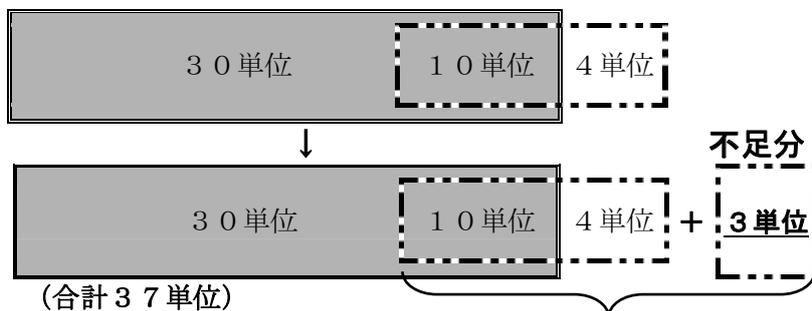
② 修得単位【プログラム修了要件単位(14単位)】の内、7単位が研究科修了要件の修得単位と重複する(研究科の修了要件単位数に認められる)場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位(7単位以上)が含まれている。

※14単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 (すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。)

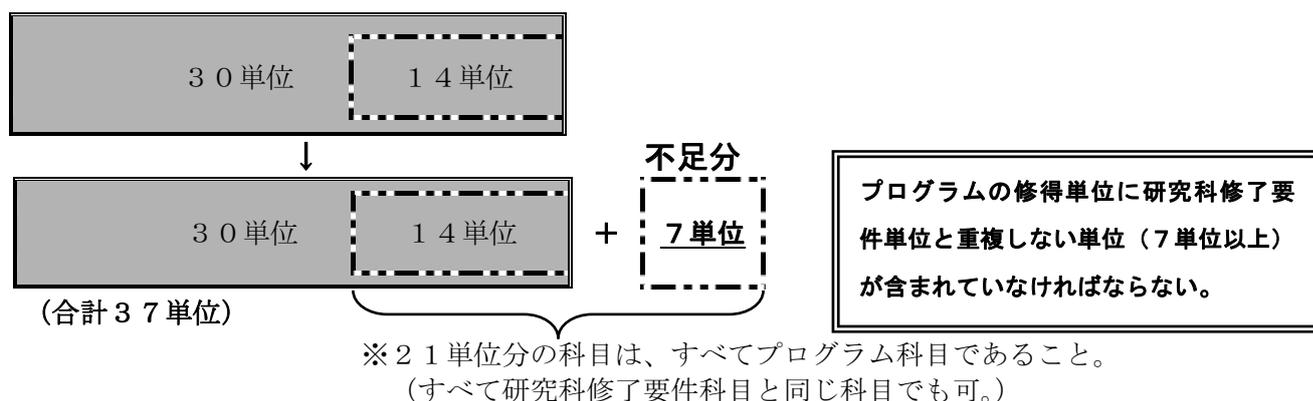
③ 修得単位【プログラム修了要件単位(14単位)】の内、10単位が研究科修了要件の修得単位と重複する(研究科の修了要件単位数に認められる)場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位(7単位以上)が含まれていなければならない。

※17単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 (すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。)

- ④ 修得単位【プログラム修了要件単位(14単位)】が、すべて研究科修了要件の修得単位と重複する(研究科の修了要件単位に認められる)場合。



10. プログラムの修了について

プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院の課程を修了するとき(修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。)にプログラムの修了認定証を授与します。

修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

11. プログラムの授業科目について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

12. 休講等の通知について

授業の休講やプログラムに関する通知等の連絡は、原則、KOAN掲示板により行うことになっています。プログラムによってメールアドレスやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

13. プログラム実施部局・連携部局について

プログラム実施部局とは、副専攻プログラムを企画し開講するそのプログラムに対して責任を持つ大阪大学の研究科などの組織((注)を参照)をいいます。プログラムについて質問や連絡することがありましたら、そのプログラムの実施部局にある担当事務室にご連絡ください。

また、連携部局とは1つのプログラムを複数の大阪大学の研究科などの組織が連携して開講する場合の実施部局以外の部局をいいます。それぞれのプログラムの連携部局がこういった役割を担うかは各プログラムによって違いがあります。

(注) ここでの部局とは、大阪大学の下記の組織を指します。

- ・研究科
- ・附置研究所
- ・学内共同教育研究施設
- ・全国共同利用施設

1 4. 大阪大学ホームページでの情報掲載について

大阪大学ホームページから「教育・研究活動」→「副専攻的な教育」の中に副専攻プログラムについてのページを設けてあります。各プログラムのホームページへもリンクしています。

ホームページ (<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/fukusenkou>)

1 5. 各プログラムの説明会日程等について

各プログラムについて、下記のとおり合同ガイダンスを行います。

合同ガイダンスでは、各プログラムについて説明を行い、質問に答えますので、受講選択に役立つ情報が得られます。

【高度副プログラム・副専攻プログラム合同ガイダンス】

(吹田キャンパス) 平成23年4月13日(水) 13時30分～16時

理工学図書館 図書館ホール(3階) 及び ギャラリーゾーン(2階)

(豊中キャンパス) 平成23年4月15日(金) 13時30分～16時

総合図書館 図書館ホール(6階)

説明会を開催するプログラムについては、以下のとおりです。

ページ	プログラム名称	合同ガイダンス		その他説明会日程等
		4/13(水) 吹田	4/15(金) 豊中	
8	認知脳システム学	○	○	各研究科の新入生ガイダンス・入学ガイダンス等でも実施します。 詳しい日程・場所は決まり次第、ホームページで告知します。
9	金融・保険			説明会・オリエンテーション 平成23年4月11日(月)午後6時～ 豊中キャンパス法経講義棟1階第1講義室
10	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム)	○	○	「ナノサイエンスデザイン教育研究センター プログラム説明会」 【吹田キャンパス】H23.4.11(月)12:10-12:50 工学研究科U2-214(U棟2階) 【豊中キャンパス】H23.4.12(火)12:10-12:50 基礎工学研究科G509(G棟5階) H23.4.14(木)12:10-12:50 理学研究科H601 セミナー室(H棟6階)

16. 各プログラム紹介

プログラム名称	認知脳システム学		
プログラム実施部局	基礎工学研究科		
連携部局	人間科学研究科、医学系研究科、工学研究科		
修了要件単位数	14単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>本プログラム「認知脳システム学」は、人間の高次認知機能（認知脳）の理解とそれに基づく情報・機械システム開発の方法論を教示することを目的としています。基礎工学研究科と工学研究科、人間科学研究科、そして医学系研究科が連携することで、学生の学際的研究能力を育成し、新しい研究や産業を自ら発案、実施できる能力を育てることを目指します。</p> <p>基礎工学研究科と工学研究科では、認知脳を構成的に理解することを目的に、生物の脳や身体、知覚機能の役割を工学的立場から考察し、またそれらをロボットシステムとして実現するのに必要な基礎技術についての講義を提供します。人間科学研究科では、人間の記憶や推論といった認知脳の概念、またそれらを解明する心理学実験手法について講義します。医学系研究科では、認知機能を計測する手段としての脳イメージング技術や、その他の画像医学技術についての講義を行います。受講学生は、これらの学際的な講義を通して、新たな研究領域である認知脳システム学を推進する能力を養うことができます。また、講義の多くが英語で行われることから、国際性の向上も期待されます。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	本プログラムの科目から必修科目9単位を含む14単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ： http://www.gcoe-cnr.osaka-u.ac.jp/ 問い合わせ先： 基礎工学研究科大学院係 06-6850-6146 ki-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	<p>合同ガイダンス (吹田)平成23年4月13日(水)13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金)13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階) および各研究科の新入生ガイダンス・入学ガイダンス等で実施します。 詳しい日程・場所は決まり次第、ホームページで告知します。</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	金融・保険		
プログラム実施部局	金融・保険教育研究センター		
連携部局	基礎工学研究科, 理学研究科, 経済学研究科, 情報科学研究科		
修了要件単位数	8科目以上(16単位相当以上)		
履修対象者	スタンダード・プログラム: 修士 及び 博士	対象者制限 の有無	有
	アドバンスト・プログラム 博士		
プログラム概要 及び教育目標	<p>大阪大学金融・保険教育研究センター (CSFI) は、文部科学省特別教育研究経費(連携融合)に採択された“新領域分野「金融・保険科学」に関する文理融合型教育プログラムの開発”の実施母体として、平成18年4月に発足しました。</p> <p>極めて高度化・複雑化した金融・経済システムにおいて求められる、金融・保険に関わる学際的分野でのスペシャリストを育成することを目標にし、基礎工学研究科, 経済学研究科, 理学研究科, 情報科学研究科の4研究科を学内設立母体とし、多くの民間および公的な金融機関を連携協力機関の支援のもと提供する文理融合型教育プログラムです。</p> <p>修士課程レベルに対応する [S] スタンダード・プログラムと博士課程レベルに対応する [A] アドバンスト・プログラムを持ち、さらにそれらは、それぞれ (M) 数理計量ファイナンスコース, (E) 金融経済・工学コース, (I) インシュアランス・コースの3つのコースに分かれ、最先端の学術的発展をも踏まえた教育に加え、実務家教員による実務教育にも力を入れています。</p> <p>また、CSFI における開講科目は大阪大学の大学院在学生在が受講できるほか、金融・保険の知識・スキルの修得を旨とする社会人向けに、「科目等履修生高度プログラム」としても開放されています。</p>		
履修資格・条件	平成23年度以降に、大阪大学内のいずれかの大学院の博士前・後期課程に入学し、在学中の者。		
修了要件	<p>上記の3つのコースごとに、各科目を、基礎科目、専門科目、特別科目に分類しており、2種プログラムの修了要件はそれぞれ以下の通りです。各コースの科目の分類については、CSFI の教育プログラム便覧を御覧ください。</p> <p>スタンダード・プログラム: 必修科目をすべて含み、基礎科目2科目以上、専門科目4科目以上、計8科目以上。</p> <p>アドバンスト・プログラム: 特別科目6科目以上、計8科目以上</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	宛先: 大阪大学 金融・保険教育研究センター (CSFI) 所在地: 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3 Phone: (06) 6850-6091 Fax: (06) 6850-6092 ホームページ: www-csfi.sigmath.es.osaka-u.ac.jp E-mail: csfi-questions@sigmath.es.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	平成23年度の説明会・オリエンテーションを 4月11日(月)午後6時～、豊中キャンパス法経講義棟1階第1講義室にて開催致します。		
特記事項	1・2学期とも、エントリー・出願、履修登録は所定の期間内に KOAN によって受け付けます。その際、CSFI 作成の冊子(パンフレット、教育プログラム便覧)および上記ホームページに重要な情報が掲載されていますので、御参考になさってください。また、休講・補講、集中講義の日程、等の最新の情報につきましても、ホームページに御注意ください。		

プログラム名称	「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム)」 【略称: ナノ高度学際教育研究訓練(前期課程副専攻)】		
プログラム実施部局	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高圧電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター、レーザーエネルギー学研究センター		
修了要件単位数	14単位以上		
履修対象者	修士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学大学院の各部局で従来個別に実施してきた学際性の極めて強いナノサイエンス・ナノテクノロジーに関連する大学院講義を部局横断型に再編統合し、独自の講義・実習・討論科目を付加して、複数の高度学際教育プログラムを編成してあります。これらの高度学際教育プログラムの履修により、従来の専門領域に加えてナノサイエンス・ナノテクノロジーの体系化された幅広い知識と、その社会・産業への展開方法を修得させ、よって有能なナノ関連分野の基礎研究開発能力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>カリキュラム構成は、ナノサイエンス・ナノテクノロジーに関わる学生が広く聴講すべき講義群を、5つのコースに分類して、これに社会におけるナノテクノロジーの活用実例や実用化における課題を講義するナノテクキャリアアップ特論(必修科目、吹田・豊中遠隔中継)、社会普及・標準化、ナノリスクを説くナノテクノロジー社会受容特論A(必修科目、土曜開講、吹田・豊中・中之島遠隔中継)、各種産業発展のロードマップを用いた要素技術の解説と自分の専門に対するケーススタディーを行うナノテクノロジーデザイン特論A/B(1科目選択必修、土曜開講、吹田・豊中・中之島遠隔中継)を加えて、将来ナノサイエンス・ナノテクノロジー関連分野へ進む全学の学生に対して副専攻プログラムを提供します。このプログラムでは講義のみならず、主に夏期集中で部局横断的な演習、実験を含めた高度実習訓練(約30課題で選択コースの実習は必修)を行うことと、社会人を含めた討論重視の土曜講座への参加を特徴としています。</p> <p>大学院博士前期課程副専攻の高度学際教育副専攻プログラムとして、以下の5つのコースを平成23年度に実施します。</p> <p>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノ材料学 ③ 超分子ナノバイオプロセス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学 ⑤ ナノフォトニクス学</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	本プログラム修了認定には、1つのコースの中から講義科目13単位(うち所属の専攻または領域の授業科目にない講義科目7単位(「ナノテクキャリアアップ特論」、「ナノテクノロジー社会受容特論A」、「ナノテクノロジーデザイン特論A、B」を含めてよい)以上を含む)、および集中実習科目1単位以上を修得することが必要です。ただし、修得した単位のうち最低7単位は、所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載してください。</p> <p>ナノプログラム事務局: 豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス: nano-program@insd.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6850-6398 ホームページ: http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)</p>		
説明会の日程	<p>「ナノサイエンスデザイン教育研究センター プログラム説明会」 【吹田キャンパス】 H23.4.11(月)12:10-12:50 工学研究科U2-214(U棟2階) 【豊中キャンパス】 H23.4.12(火)12:10-12:50 基礎工学研究科G509(G棟5階) H23.4.14(木)12:10-12:50 理学研究科H601 セミナー室(H棟6階)</p> <p>「高度副プログラム・副専攻プログラム合同ガイダンス2011」 【吹田キャンパス】 H23.4.13(水)13:30-16:00 理工学図書館 図書館ホール(3階) およびギャラリーゾーン(2階) 【豊中キャンパス】 H23.4.15(金)13:30-16:00 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	本副専攻プログラムを申請する学生は、同時に高度副プログラム【略称: ナノ高度学際教育研究訓練(前期課程)】も申請することを推奨します。これは単位不足の場合でも副プログラム(9単位)の修了は可能な場合があるからです。詳しくはシラバス参照のこと。 2年度にまたがる履修を認めます。		

(高度副プログラム)

平成23年度 高度副プログラム一覧

	プログラム名称	プログラム実施部局	履修対象者	ページ
1	ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論	文学研究科	M・D	2 2
2	アート・メディアロジー入門講座－理論と実践	文学研究科	M (Dも可)	2 3
3	イノベーションリーダー人材育成基礎プログラム	経済学研究科	M・D	2 4
4	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科（医科学専攻）	M	2 5
5	高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科（保健学専攻）	M・D	2 6
6	まちづくりデザイン学	工学研究科	M	2 7
7	高度溶接技術者プログラム	工学研究科	M・D	2 8
8	学際光科学	工学研究科	M・D	2 9
9	光通信及びフォトニックネットワーク工学	工学研究科	M	3 0
1 0	キャリアデザイン ～高度な学びを活かすキャリアパスをデザインする～	工学研究科	M・D	3 1
1 1	国際標準化	工学研究科	M・D	3 2
1 2	量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム	工学研究科	M・D	3 3
1 3	認知脳システム学	基礎工学研究科	M・D	3 4
1 4	言語情報処理の手法と展開	言語文化研究科	M・D	3 5
1 5	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	M・D	3 6
1 6	IT Spiral	情報科学研究科	M1	3 7
1 7	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト	情報科学研究科	M	3 8
1 8	感染症学免疫学融合プログラム	微生物病研究所	D	3 9
1 9	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	国際教育交流センター	M・D	4 0
2 0	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：専門科	臨床医工学融合研究教育センター	M・D	4 1

	プログラム名称	プログラム実施部局	履修対象者	ページ
2 1	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：高度職業人育成科	臨床医工学融合研究教育センター	M・D	4 2
2 2	コミュニケーションデザイン	コミュニケーションデザイン・センター	B5、6 ・M・D	4 3
2 3	金融・保険	金融・保険教育研究センター	M・D	4 4
2 4	グローバル共生	グローバルコラボレーションセンター	M・D	4 5
2 5	人間の安全保障と開発	グローバルコラボレーションセンター	M・D	4 6
2 6	司法通訳翻訳	グローバルコラボレーションセンター	M・D	4 7
2 7	現代中国研究	グローバルコラボレーションセンター	M・D	4 8
2 8	国連政策エキスパートの養成	グローバルコラボレーションセンター	M・D	4 9
2 9	グローバル健康環境	グローバルコラボレーションセンター	M・D	5 0
3 0	医療通訳	グローバルコラボレーションセンター	M・D	5 1
3 1	サステナビリティ学	環境イノベーションデザインセンター	M・D	5 2
3 2	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士前期課程高度学際教育）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	M	5 3
3 3	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士後期課程社会人特別選抜）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	5 4
3 4	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士後期課程教育研究訓練プログラム）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	5 5
3 5	知的財産法を修得した人材育成	知的財産センター	M・D	5 6

※履修対象者

B5、6・・・6年制課程の学部(医学部・歯学部・薬学部)の5、6年次

M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科の博士課程1、2年次・高等司法研究科

D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科の博士課程3年次以上

平成23年度 大阪大学大学院等高度副プログラムについて

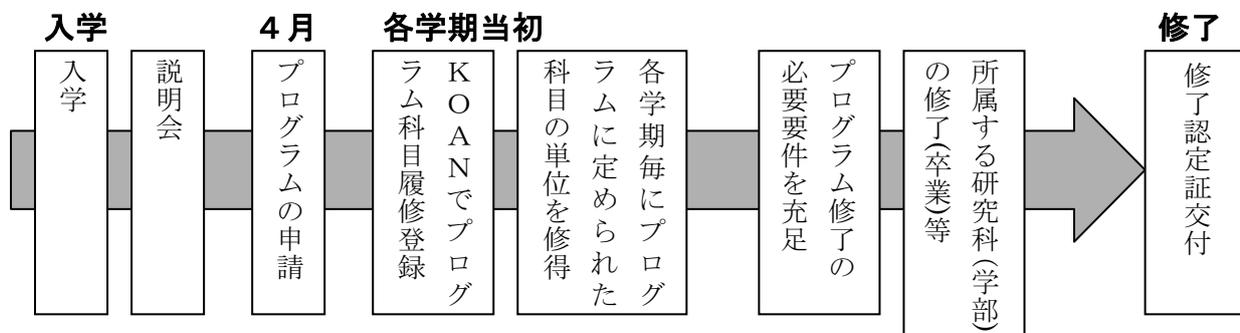
1. 高度副プログラムとは

近年の学問分野の学際化・融合化により、幅広い分野の知識と柔軟な思考能力を持つ人材など社会において求められる人材の多様な要請に対応する取組として、教育目標に沿って、一定のまとまりを有する授業科目により構成され、体系的に履修することのできるプログラムです。

プログラム毎に定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了（修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。）（一部のプログラムは学部の課程を卒業）する際にプログラムの修了認定証が交付されます。

平成23年度は、35のプログラムが開設されます。

プログラム修了までの流れ



2. 履修対象者

大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く）

一部のプログラムは6年制課程の学部（医学部・歯学部・薬学部）5、6年次学生

3. 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

4. 履修条件

大阪大学大学院の課程（一部のプログラムは6年制課程の学部（医学部・歯学部・薬学部）5、6年次）に在学していることが必要です。その他、プログラム毎に履修条件や履修者数の制限を設ける場合もありますので、個々のプログラムの説明を参照してください。履修制限のないプログラムについては、所属する研究科(学部)・学年を問わず履修することができます。

なお、複数のプログラムを同時に履修することも可能です。

ただし、「博士前期課程・修士課程」、「博士後期課程・博士課程」及び「6年制課程の学部（医学部・歯学部・薬学部）5、6年次」とでは、履修できるプログラムが異なりますので、詳細はプログラム一覧（11、12ページ）で確認してください。

5. プログラムの履修手続について

プログラムの履修手続としては、「プログラムの申請」と「プログラム科目の履修登録（KOANでの登録）」の両方を行う必要があります。

プログラムの申請は、Webを使用して行うプログラムと申請書の提出にて行うプログラムがあります。Webによる申請については、各学期の始めにKOAN掲示板にて、申請書の提出による申請については、各プログラムが発行する冊子にてお知らせします。

プログラム科目の履修登録（KOANでの登録）は、学期毎にKOANを使用して当該学期に履修する授業科目について、所属する研究科で設定している履修登録期間内に行ってください。

その他、プログラムによっては、KOANの履修登録以外に年度当初又は学期毎に履修するプログラム科目の申請が必要な場合もあります。各プログラムの指示に従ってください。

下記の高度副プログラムについては、以下のとおり申請手続や履修にあたっての注意事項がありますので、熟読のうえ手続等を行ってください。

ページ	プログラム名称	申請手続等に関する注意事項
25	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	講義の場所・日程等は、KOAN あるいはプログラム HP 上で確認してください。なお、履修希望者は KOAN への履修登録の他、プログラム HP から履修登録用紙をダウンロードし、所属研究科教務係へ提出してください。 ホームページ (http://www.msc.med.osaka-u.ac.jp/info/kodofukuprogram.html) 平成 22 年度まで開講していた「医事法」を履修済みの学生は「医療・法・裁判Ⅰ」を、「知的財産権法」を履修済みの学生は「医療・法・裁判Ⅱ」を履修することはできません。
26	高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科保健学専攻がんプロフェッショナルコースの大学院生以外の履修希望者は予め、教務係（内線 2512）あるいは実施責任者（松浦成昭、内線 2591）にご連絡ください。
33	量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム	履修希望の場合は、KOAN 登録に先立ち、まずは本プログラム事務局にご連絡ください。（担当：野尻、内線：7858） e-mail:qedc-staff@dyn.ap.eng.osaka-u.ac.jp 氏名（ふりがな）、学籍番号、電話番号、メールアドレス、履修希望科目名を上記アドレスまで送信してください。その際、件名を「特別プログラム履修登録」としてください。

ページ	プログラム名称	申請手続等に関する注意事項
4 1	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：専門科	プログラムの申請および各コース授業科目の履修登録等については、臨床医工学融合研究教育センターの教育プログラム冊子およびホームページ (http://www.mei.osaka-u.ac.jp/) をご覧ください。
4 2	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：高度職業人育成科	
4 3	コミュニケーションデザイン	プログラム科目の履修登録については、コミュニケーションデザイン・センターの「履修ガイドブック・シラバス」またはホームページ (http://cscd.osaka-u.ac.jp/) をご覧ください。
4 4	金融・保険	対象者は、平成22年度以前に、大阪大学内のいずれかの大学院の博士前・後期課程に入学し、在学中の方に限定します。 平成23年度以降に入学した方は「副専攻プログラム（金融・保険）」を御覧ください。

6. 「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム (Web)」について

様々なプログラムの中から、学びたい「知」や将来の進路等希望に合ったプログラムや授業科目をガイドし、プログラムの受講申請を行う機能を持った Web システムとして、「学際融合教育プログラム受講ガイダンスシステム (<https://idiscp.osaka-u.ac.jp/gakusai/>)」があります。本システムでプログラム構成科目の時間割やシラバスを参照・比較することができ、履修計画を立てることができます。

なお、本システムへは直接URLアドレス入力の外、下記サイトからリンクしています。

- ①KOANトップページ<左メニュー>
- ②阪大ポータルトップページ<「学生ページ1」の大阪大学 Web サービスリンク集>
- ③学際融合教育研究センターHP (<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/gakusai/>) <左メニュー>

7. プログラムのカリキュラムについて

プログラム毎に提供する授業科目や修了要件単位数が決まっています。プログラムの提供する科目は、プログラム実施部局や連携部局等で開講する授業科目から構成されています。本冊子には、プログラムのカリキュラムについては記載していませんので、興味のあるプログラムについてはホームページ等を参照してください。

8. プログラム提供科目のシラバスについて

プログラムの提供する科目のシラバスは、各プログラムが発行する冊子等を参照するかKOANのシラバスを検索してください。

9. プログラムの修了要件について

プログラム毎に修了要件に違いがあります。本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたりコースを選択するなど条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介冊子等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と所属している研究科（学部）の専攻（学科）の修了（卒業）に必要な単位との重複は認められます。ただし、所属する専攻（学科）の修了（卒業）に必要な最低修得単位数以外に最低4単位は、当該プログラムの単位として修得する必要があります。専攻（学科）の修了（卒業）に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科（学部）の教務担当係に確認してください。

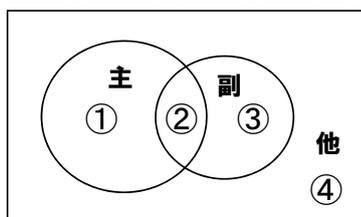
また、複数のプログラムを履修する場合は、それぞれのプログラムの修了に必要な単位の重複は認められません。

【注意】

プログラムで定める授業科目をプログラムの申請以前に履修している場合は、既に修得している単位がプログラムの修了要件単位として認定されることがあります。詳細については各プログラムに問い合わせてください。

《大学院等高度副プログラムの修了要件》

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



- ①…研究科（学部）の修了（卒業）要件科目 の単位
- ②…研究科（学部）の修了（卒業）要件科目 かつ 高度副プログラム科目 の単位
- ③…高度副プログラム科目 の単位
- ④…研究科（学部）の修了（卒業）要件 [外] 科目 かつ 高度副プログラム [外] 科目 の単位

研究科（学部）の修了（卒業）要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

条件1：高度副プログラムの修了要件単位を満たすこと。

条件2：『①+②+③≥(A)+4』を満たすこと。（博士前期課程で(A)=30の場合、「34単位以上」）

高度副プログラム科目の単位と、所属している研究科（学部）の修了（卒業）要件単位との重複は認められるが、研究科（学部）の修了（卒業）に必要な最低修得単位数以外に**最低4単位は、当該高度副プログラムの単位として修得**することが必要。

（注：高度副プログラム科目を研究科（学部）の修了（卒業）要件として認めるかどうかの可否は各研究科（学部）の判断による。）

条件3：大学院（学部）を修了（卒業）すること。（修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。）

《大学院等高度副プログラムの修了に必要な単位について》

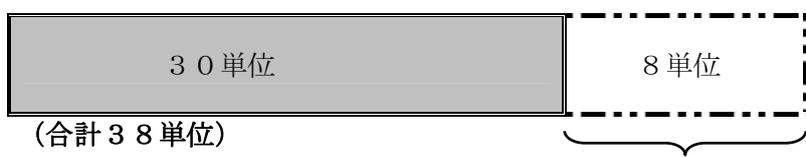
●履修例

研究科の修了要件単位数：30単位
 プログラム修了要件単位数：8単位 } の場合

◎凡例



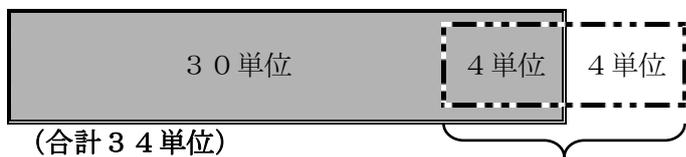
① 修得単位【プログラム修了要件単位（8単位）】が、すべて研究科修了要件の修得単位と重複しない場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位（4単位以上）が含まれている。

※8単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 （すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。）

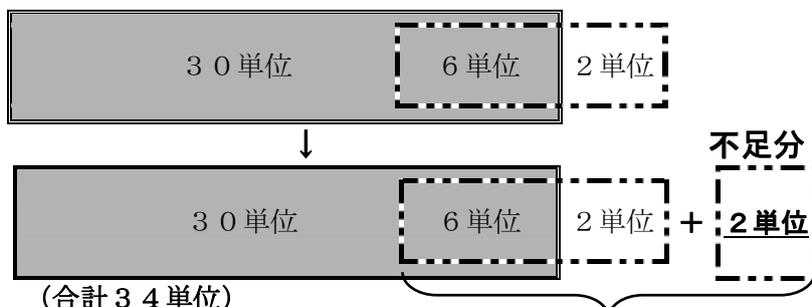
② 修得単位【プログラム修了要件単位（8単位）】の内、4単位が研究科修了要件の修得単位と重複する（研究科の修了要件単位に認められる）場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位（4単位以上）が含まれている。

※8単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 （すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。）

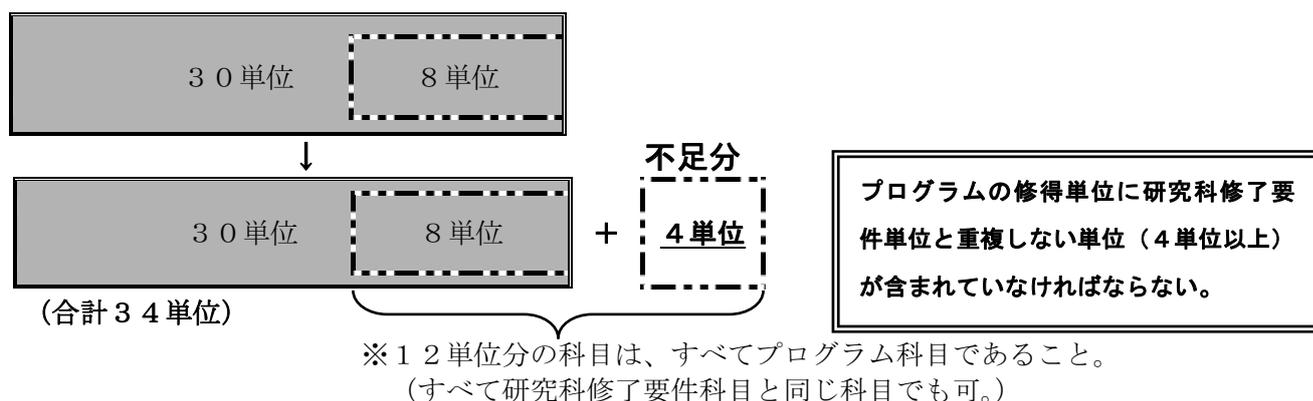
③ 修得単位【プログラム修了要件単位（8単位）】の内、6単位が研究科修了要件の修得単位と重複する（研究科の修了要件単位に認められる）場合。



プログラムの修得単位に研究科修了要件単位と重複しない単位（4単位以上）が含まれていなければならない。

※10単位分の科目は、すべてプログラム科目であること。
 （すべて研究科修了要件科目と同じ科目でも可。）

- ④ 修得単位【プログラム修了要件単位(8単位)】が、すべて研究科修了要件の修得単位と重複する(研究科の修了要件単位に認められる)場合。



10. プログラムの修了について

プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院(学部)の課程を修了(卒業)するとき(修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。)にプログラムの修了認定証を授与します。

修了認定証の交付は、所属する研究科(学部)の教務担当係より行われます。

11. プログラムの授業科目について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

12. プログラムの修得単位について

履修中のプログラムを修了せず大学院(学部)を修了(卒業)又は退学し、当該プログラムの修得単位がある場合は、社会人対象の科目等履修生高度プログラムを履修する際に、当該単位を新たに履修する科目等履修生高度プログラムの既修得単位として認定されることがあります。詳細については各プログラムに問い合わせてください。(ただし、新たに履修する科目等履修生高度プログラムにおいて、高度副プログラム修得単位の科目と共通する科目がある場合に限りです。)

13. 休講等の通知について

授業の休講やプログラムに関する通知等の連絡は、原則、KOAN掲示板により行うことになっていきます。プログラムによってメールアドレスやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

14. プログラム実施部局・連携部局について

プログラム実施部局とは、高度副プログラムを企画し開講するそのプログラムに対して責任を持つ大阪大学の研究科などの組織（注）をいいます。プログラムについて質問や連絡することがありましたら、そのプログラムの実施部局にある担当事務室にご連絡ください。

また、連携部局とは1つのプログラムを複数の大阪大学の研究科などの組織が連携して開講する場合の実施部局以外の部局をいいます。それぞれのプログラムの連携部局がどういった役割を担うかは各プログラムによって違いがあります。

（注）ここでの部局とは、大阪大学の下記の組織を指します。

- ・学部、研究科
- ・附置研究所
- ・学内共同教育研究施設
- ・全国共同利用施設

15. 大阪大学ホームページでの情報掲載について

大阪大学ホームページから「教育・研究活動」→「副専攻的な教育」の中に高度副プログラムについてのページを設けてあります。各プログラムのホームページへもリンクしています。

アドレス（ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/fukusenkou> ）

16. 各プログラムの説明会日程等について

各プログラムについて、下記のとおり合同ガイダンスを行います。

合同ガイダンスでは、各プログラムについて説明を行い、質問に答えますので、受講選択に役立つ情報が得られます。

【高度副プログラム・副専攻プログラム合同ガイダンス】

（吹田キャンパス）平成23年4月13日（水）13時30分～16時

理工学図書館 図書館ホール（3階）及び ギャラリーゾーン（2階）

（豊中キャンパス）平成23年4月15日（金）13時30分～16時

総合図書館 図書館ホール（6階）

説明会を開催するプログラムについては、以下のとおりです。

ページ	プログラム名称	合同ガイダンス		その他説明会日程等
		4/13(水) 吹田	4/15(金) 豊中	
26	高度がん医療人材育成プログラム	○		
27	まちづくりデザイン学			平成23年4月6日(水)14:40～ (吹田)先導的研究棟2F会議室 (サステイナビリティ学と共催)

ページ	プログラム名称	合同ガイダンス		その他説明会日程等
		4/13(水) 吹田	4/15(金) 豊中	
28	高度溶接技術者プログラム	○	○	別途、個別での説明会も行います。その説明会の日程・場所は、決まり次第、ホームページ等で通知します。
29	学際光科学	○	○	個別ガイダンス (吹田)平成23年4月6日(水)15時30分～16時 先導的研究棟2F会議室 (豊中)平成23年4月8日(金)13時～13時30分 基礎工学部D404-408教室
31	キャリアデザイン ～高度な学びを活かすキャリアパスをデザインする～	○	○	
32	国際標準化	○	○	
33	量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム	○	○	
34	認知脳システム学	○	○	各研究科の新入生ガイダンス・入学ガイダンス等でも実施します。 詳しい日程・場所は決まり次第、ホームページで告知します。
36	グローバルリーダーシップ・プログラム			決定次第KOAN の掲示板で通知します。
37	IT Spiral			平成23年4月8日(金)大学院情報科学研究科入学ガイダンス 但し、他研究科の学生は、IT Spiral 事務局に問い合わせてください。
38	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト			平成23年4月8日(金) 大学院情報科学研究科 専攻別ガイダンス なお、他専攻・他研究科の学生は、問い合わせ先に連絡してください。 個別に対応します。
39	感染症学免疫学融合プログラム			4月12日(火) 10時半～ 微生物病研究所(吹田キャンパス)本館1階講堂(微研ホール)
40	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	○	○	対象科目の最初(および2週目)の授業の際にも、各担当者が説明します。
41	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム:専門科	○	○	
42	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム:高度職業人育成科	○	○	
43	コミュニケーションデザイン	○	○	CSCD提供科目の第1回目の授業の際にも、各担当教員が説明を行います。
44	金融・保険			説明会・オリエンテーション 平成23年4月11日(月)午後6時～ 豊中キャンパス法経講義棟1階第1講義室

ページ	プログラム名称	合同ガイダンス		その他説明会日程等
		4/13(水) 吹田	4/15(金) 豊中	
45	グローバル共生	○	○	その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します。
46	人間の安全保障と開発			
47	司法通訳翻訳			
48	現代中国研究			
49	国連政策エキスパートの養成			
50	グローバル健康環境			
51	医療通訳			
52	サステナビリティ学	○	○	個別ガイダンス(まちづくりデザイン学、学際光科学と共催) (吹田)平成23年4月6日(水)14時40分～ 先導的研究棟2F会議室 (豊中)平成23年4月8日(金)13時～ 基礎工学部D404-408教室
53	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	○	○	「ナノサイエンスデザイン教育研究センター プログラム説明会」 【吹田キャンパス】H23.4.11(月)12:10-12:50 工学研究科U2-214(U棟2階) 【豊中キャンパス】H23.4.12(火)12:10-12:50 基礎工学研究科G509(G棟5階) H23.4.14(木)12:10-12:50 理学研究科H601 セミナー室 (H棟6階)
54	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	○	○	合同ガイダンスにて説明を行います。4月1日より開講のため、事前の説明会は行いません。随時ナノプログラム事務局へ問い合わせください。講義内容等は、ナノプログラムのホームページ上に掲載されている社会人教育の項を参照してください。
55	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程教育研究訓練プログラム)	○	○	合同ガイダンスとは別にテーマ説明会を開催予定です。詳しくはナノプログラムホームページを参照のこと。
56	知的財産法を修得した人材育成	○	○	知的財産センターの単独説明会 平成23年4月1日(金)18時～19時 中之島センター 2F(講義室1)

17. 各プログラム紹介

プログラム名称	ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論		
プログラム実施部局	文学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>本教育プログラムはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(「ユーロカルチャー」*)在籍の留学生に提供されているもので、ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化し、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習します。授業はすべて英語で行われるため、TOEFL580点以上、あるいはそれに見合う英語運用能力が求められます。また本プログラムにおいて受講生の主体的な参加に基づく、双方向的な授業を実施するとともに、課外においても文献講読など自主学習が課せられるほか、フィールドワーク、見学会、学術交流会などの実施も予定しています。</p> <p>開講は10月～12月に10回、定員は10～15名程度です。</p> <p>* エラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムとは、欧州における高等教育機関の共同の流動性を高めることにより、大学教育を国際化するプログラムです。2008年より大阪大学大学院文学研究科が同プログラムの域外パートナーとなり、同プログラムの留学生を受け入れています。「ユーロカルチャー」は現代ヨーロッパの文化的、社会的、政治的アイデンティティーに関する諸問題を研究するためのプログラムであり、国際機関等への就職をめざしています。</p>		
履修資格・条件	これまでに「ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論」の高度副プログラムを申請し、修了要件を満たしていない学生のみを対象とします。		
修了要件	プログラム申請から3年以内に8単位修得してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ: http://www.let.osaka-u.ac.jp 問合せ先: 文学研究科教務係 e-mail: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	—		
特記事項	—		

プログラム名称	アート・メディアロジー入門講座－理論と実践		
プログラム実施部局	文学研究科		
連携部局	コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士(博士も可)	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>概要 「アート・メディアロジー入門講座－理論と実践」は、現代社会でアートによるプロジェクトを計画し、社会的実践に結び付けて行くスペシャリストを育成するプログラムです。アートが現代社会の諸局面で活用される機会は増えてきていますが、アートの社会的機能についての根本的な理解なしには継続的で影響力のある実践はできません。アートを社会に生かし、社会に根付いたものにするためにはただ単に実践出来るだけではなく、アートについてその必要性を社会的に説明できることも重要です。このプログラムは、そのような現代社会の多ジャンルにまたがるアートのメディアとしての役割、現代社会における意義、未来への展望について理論的歴史的に理解を深めるとともに、インターンシップや実践的なプロジェクトに参加することで具体的なアート・プロジェクトの過程を学びます。</p> <p>教育目標 メディアとしての各アートにおける基礎的知識の習得 アートを媒介にする社会的実践能力の育成 地域社会とアートを結び付けるデザイン力の涵養</p>		
履修資格・条件	—		
修了要件	1年以内に8単位を修得してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ: http://www.let.osaka-u.ac.jp 問合せ先: 文学研究科教務係 e-mail: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	—		
特記事項	—		

プログラム名称	イノベーションリーダー人材育成基礎プログラム		
プログラム実施部局	経済学研究科		
連携部局	医学系研究科, 工学研究科		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>イノベーションスピードが速まり, 最先端技術の分散が著しい今日において, 関連する技術を束ねて, 研究開発を推進する, 商品開発を企画する, 事業化を模索する, といった組織的活動におけるマネジメントニーズは日増しに高まってきています。高度成長期を経て, 一気に成熟期に突入した日本が, 今後グローバルに競争優位なポジションを維持するには, 最先端技術を融合させた技術開発を実現するイノベーションリーダーの育成が必要不可欠であり, またそうした人材のマネジメント能力を向上させていかなければなりません。</p> <p>そこで我々経済学研究科では, 主に経営学系専攻において開講されている科目を, 全学に高度副プログラムとして提供することを通じて, 大阪大学におけるイノベーションリーダー育成の基礎を構築したいと思っています。幸い我々は, 同名のプログラム名称にて, 平成20年度下期から22年度までの2年半にわたって, 文部科学省から「大学院教育改革プログラム」の助成を受けており, その素地は整っていると考えています。さらに医学系研究科(MEIセンター)および工学研究科(BE専攻)とも連携を図り, プログラムとしての射程を広げていきます。</p>		
履修資格・条件	主として, 理工系・医歯薬系の博士前期・後期課程在籍者, およびそれに相当する学力を有する大学院生。		
修了要件	上記の通り。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ: http://www2.econ.osaka-u.ac.jp/subprograms</p> <p>連絡先: CMI-Info@econ.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	特になし。		
特記事項	特になし。		

プログラム名称	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養												
プログラム実施部局	医学系研究科医科学専攻												
連携部局	—												
修了要件単位数	8単位以上												
履修対象者	修士	対象者制限の有無	無										
プログラム概要及び教育目標	<p>医療系の人材の育成には、人間社会の枠組みを律する人文社会科学系の知識・技能の教育が必要です。わが国では少子高齢社会を迎え、健康や医療問題が複雑化している現在、医科学の専門知識、技能の習得のみならず、健康医療の諸問題に対処し解決する能力が求められています。</p> <p>そこで、本教育プログラムは、大阪大学の新しい教育・研究体系としての主要プロジェクトの一つである文理融合の一環として、狭義の医学領域のみではなく、人文社会科学領域の基礎的知識を有し、倫理性、社会性、専門性、応用力、リーダーシップを兼ね備えた均衡のとれた研究者並びに専門職業人の育成に当たることを目的としています。</p> <p>具体的には、社会医学分野の講義として、以下の科目を選択科目として開講します。</p> <table border="0"> <tr> <td>1) 健康政策学総論 (2単位)</td> <td>2) 国際健康政策学 (2単位)</td> </tr> <tr> <td>3) 疫学総論 (2単位)</td> <td>4) 疫学各論 (2単位)</td> </tr> <tr> <td>5) 医療・法・裁判 I (2単位)</td> <td>6) 医療・法・裁判 II (2単位)</td> </tr> <tr> <td>7) 医療経済・経営入門 (1単位)</td> <td>8) 経済学・経営学の基礎理論 (1単位)</td> </tr> <tr> <td>9) 国際感染症学 (2単位)</td> <td>10) 環境健康リスク論 (2単位)</td> </tr> </table>			1) 健康政策学総論 (2単位)	2) 国際健康政策学 (2単位)	3) 疫学総論 (2単位)	4) 疫学各論 (2単位)	5) 医療・法・裁判 I (2単位)	6) 医療・法・裁判 II (2単位)	7) 医療経済・経営入門 (1単位)	8) 経済学・経営学の基礎理論 (1単位)	9) 国際感染症学 (2単位)	10) 環境健康リスク論 (2単位)
1) 健康政策学総論 (2単位)	2) 国際健康政策学 (2単位)												
3) 疫学総論 (2単位)	4) 疫学各論 (2単位)												
5) 医療・法・裁判 I (2単位)	6) 医療・法・裁判 II (2単位)												
7) 医療経済・経営入門 (1単位)	8) 経済学・経営学の基礎理論 (1単位)												
9) 国際感染症学 (2単位)	10) 環境健康リスク論 (2単位)												
履修資格・条件	博士前期課程在籍者												
修了要件	本プログラムの修了要件は、上記の講義科目から8単位以上を修得することとします。												
ホームページ・問い合わせ先等	http://www.msc.med.osaka-u.ac.jp/index.html 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室 Tel:06-6879-3911 Fax:06-6879-3919												
説明会の日程	なし												
特記事項	講義の場所・日時等は、KOANあるいはプログラムHP上で確認してください。												

プログラム名称	高度がん医療人材育成プログラム		
プログラム実施部局	医学系研究科(保健学専攻)		
連携部局	薬学研究科、核物理研究センター、コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>チーム医療を推進できる、がん専門医療者を養成し地域のがん医療の向上を図ることを目的に文部科学省に採択された「チーム医療を推進するがん専門医療者の育成—集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで—」に係る各コース(がん医療専門医、がん医療コメディカル、がん専門インテンシブ)の受講者を対象に高度医療従事者等として、倫理性、社会性、専門性、応用力、リーダーシップを備えた幅広い均衡のとれた人材(研究者、専門職業人等)の育成を行うことを目的とします。各コースの受講者でかつ所定の単位数を修得することにより、異分野の専門性を垣間見ることができ有益と考えています。また、医学部附属病院オンコロジーセンター主催で専門医師、医療スタッフによる症例検討を行い最適の診療方針を議論する場としてキャンサーボードを実施しており演習科目の一部として取り扱います。</p> <p>がん医療の専門職を目指さない大学院生の中で、心理学、栄養学、倫理学、経済学等、がん医療に関連する領域を学ぶ学生、またがんに興味をもつ学生の受講を歓迎します。開講講義は専門性の高い講義も含まれているので、専門職を目指さない大学院生は一般性の高い科目を修得することが望ましいので、事前に相談の上、受講してください。</p>		
履修資格・条件	<p>①～③の条件等有</p> <p>①演習科目について受講人数の制限有(詳細は担当教員に確認要)</p> <p>②開講場所が学外で行われる場合がある(詳細は担当教員に確認要)</p> <p>③受講者数により開講時期を変更する場合がある(詳細は担当教員に確認要)</p>		
修了要件	本プログラムの科目から 8 単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページは以下の通りです。</p> <p>http://osaka.ganpro.jp/index.html</p> <p>問合せ先: 医学系研究科保健学専攻教務係(内線 2512)または実施責任者(松浦成昭、内線 2591)</p>		
説明会の日程	<p>合同ガイダンス</p> <p>平成23年4月13日(水)13時30分～16時</p> <p>(吹田) 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階)</p>		
特記事項	開講学期、開講場所等については KOAN、授業担当教員または医学系研究科保健学専攻教務係あて確認してください。		

プログラム名称	まちづくりデザイン学		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>【プログラム概要】 本教育プログラムにおいては、まちづくりにおいて必要とされる、「かたち」「しくみ」「こころ」の形成のあり方に関するデザイン力を、生活の質の向上、産業の活性化、社会サービスの効果的な提供などの視点を組み込み、養うことを目指します。そのため、主に居住まちづくり、交通まちづくり、環境まちづくり系の諸科目を基礎として学び、具体の地域・まちづくりデザインにおいて、これらの要素を総合化するという授業体系を備えています。</p> <p>【教育目標】 ①現実のまちが抱えている問題発見と課題抽出能力の養成 ②まちづくりデザインを構成する各分野における基礎的知識の習得 ③課題解決のための各分野における実践技術の習得 ④各分野における個別デザイン能力の養成 ⑤具体の地域における総合的デザイン能力の養成</p>		
履修資格・条件	特段設定せず		
修了要件	<p>本プログラムの科目から8単位以上。ただし、「リノベーションまちづくりデザイン」は必修。</p> <p>【工学研究科開講科目】（各科目2単位） 交通・地域計画論、交通システム分析論、環境行動論、地域施設整備論、建築設計マネジメント論、都市デザイン論、共生都市環境論、共生環境デザイン論</p> <p>【CSCD開講科目】（各科目2単位） リノベーションまちづくりデザイン、交通まちコミュニケーション概論</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	工学研究科地球総合工学専攻 教授 新田保次（にった やすつぐ） nitta@civil.eng.osaka-u.ac.jp 同専攻 助教 猪井博登（いのい ひろと） inoi@civil.eng.osaka-u.ac.jp 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 TEL：06-6879-7608、7609 FAX：06-6879-7612 URL： http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/machidukuri/sub-major.htm		
説明会の日程	平成23年4月6日(水)14:40～（吹田）先導的研究棟2F会議室（サステイナビリティ学と共催）		
特記事項	なし		

プログラム名称	高度溶接技術者プログラム		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	接合科学研究所		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>溶接技術は、素材から製品の組み立てに至るものづくり基盤技術の中核として、あらゆる製造分野で活用されています。溶接の原理は、アークやレーザなどの熱源によって、材料局部を溶かしてつなぐことですが、急速な加熱・冷却は溶接部分の強度や耐食性などを劣化させ、同時に変形や残留応力発生の原因にもなります。</p> <p>したがって、製品品質や安全性を確保するためには、溶接の前後工程の適切な処理や品質検査を実施する必要があります。溶接技術は未だ完成された技術ではなく、製品に応じた適正な溶接継手をつくるためには、溶接施工に関わる技術者の知識・経験が不可欠であることが、国際標準 ISO 14731「溶接技術者の任務と責務」にも明記されています。</p> <p>本プログラムでは、ものづくり分野で必要とされている高度溶接技術者の育成に向けて、溶接プロセス・機器、材料・溶接性、溶接構造物の力学、溶接施工管理に関する知識を修得できるよう体系化しています。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	<p>本プログラムの科目から 10 単位以上。ただし、溶接プロセス学特論、ジョイニングプロセス特論Ⅱ、構造化設計学、溶接施工管理論Ⅰの 4 科目 8 単位は必修。</p> <p>本プログラムの修了に必要な単位(必修の 4 科目 8 単位を含めて 10 単位以上)と各自の所属研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に最低 4 単位は、本プログラムの単位として修得する必要があります。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/mmsiwe/index.html 工学研究科マテリアル生産科学専攻 教授 平田 好則 hirata@mapse.eng.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6879-7554 同専攻 助教 高原 渉 takahara@mapse.eng.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6879-4447</p>		
説明会の日程	<p>合同ガイダンス (吹田)平成23年4月13日(水)13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金)13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階) 別途、個別での説明会も行います。その説明会の日程・場所は、決まり次第、ホームページ等で通知します。</p>		
特記事項	<p>本プログラムを修了したのち、製造業に就職し、溶接・生産関連技術者としての経験を4年以上つむとともに、より実的な知識の修得に努めると、53ヶ国が加盟している国際溶接学会(IIW)から発行され、世界に通用する国際溶接技術者(International Welding Engineer)IWE ディプロマ資格の取得につながります。</p> <p>授業のなかで一部、実習・演習を学外で行う場合があります。その際には、学生教育研究災害傷害保険に加入していることが求められます。</p>		

プログラム名称	学際光科学		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	基礎工学研究科、理学研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>光科学は情報探索手段としてだけではなく、エネルギー創生、通信、デバイス、加工、医療などの分野で重要な役割を担っています。そのため、光科学は様々な分野、コミュニティとの連携が可能な学際型科学としての性質があります。一方、大阪大学では基礎研究から産業応用に至る各分野で、光に関する優れた研究が数多く行われています。本プログラムではこの特色を生かして、光科学に関する幅広い専門性を有し、複眼的な視野から光科学の研究開発のブレイクスルーを成し遂げられる研究者および職業人の育成を目標とします。</p> <p>本プログラムでは授業科目を「先端光」、「光物性」、「ナノフォトニクス」、「パワーフォトニクス」、「光応用」、「計測・分光」、「社会人基礎力」のカテゴリに分類しています。このうち「社会人基礎力」を除いた2つ以上のカテゴリから合計8単位以上の単位取得を修了条件としますので、光科学の学際的専門性を身につけることができます。また「社会人基礎力」のカテゴリでは、研究開発のブレイクスルーに関する講演やそのためのコミュニケーション力、リーダーシップ力などに関する授業科目も提供します。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	本プログラムの定めるカテゴリ「先端光」、「光物性」、「ナノフォトニクス」、「パワーフォトニクス」、「光の応用」、「計測・分光」、「社会人基礎力」のうち、2つ以上のカテゴリ（「社会人基礎力」は除く）から合計8単位以上の単位を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>光科学センター 担当:安食 博志(あじき ひろし) 工学研究科 E 棟412号室 内線4453 柴田 一範(しばた かずのり) 同上 E 棟312号室 内線7987 メールアドレス: fukui@ppc.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.ppc.osaka-u.ac.jp/fuku-puro/ 電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名を記載してください。</p>		
説明会の日程	<p>【個別ガイダンス】 (吹田)平成23年4月6日(水)15時30分～16時 先導的研究棟2F会議室 (豊中)平成23年4月8日(金)13時～13時30分 基礎工学部D404-408教室</p> <p>【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水)13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金)13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	複数年度にまたがる履修、博士前期課程と後期課程にまたがる履修を認めます。		

プログラム名称	光通信及びフォトニックネットワーク工学		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>[概要] EUの3大学、聖アンナ高等大学(伊)、ベルリン工科大(独)、アストン大(英)と共に、大学院前期課程における光通信工学および光ネットワーク工学分野のプログラムMAPNET (Masters on Photonic NETWORKS Engineering)に参加する本学前期課程学生に対して副プログラムを提供するものである。</p> <p>[教育目的] MAPNETは光通信工学および光ネットワーク工学分野において、世界最高水準の研究教育実績を誇る4大学がカリキュラムを提供することにより、高等教育のレベルアップを諮り、EUと日本の域外の交流をとおした知的相互理解を深めることが目的である。本副プログラムでは、参加する本学前期課程学生に対して3つの演習科目群を提供し、EU大学におけるエラスムス・スミスコースの履修認定をもって副プログラム履修の認定を行う。</p>		
履修資格・条件	エラスムス・スミスプログラムMAPNET (Masters on Photonic NETWORKS Engineering)コースへ応募し選抜された有資格者に限ります。		
修了要件	<p>学生は少なくとも2つ以上の連携参加大学において研究活動を行うことが要求されます。学生は自身の希望によりそれらの研究活動拠点を選択し移動することが許されています。</p> <p>本プログラムの修了は、少なくとも2つ以上の連携参加大学において、MAPNETコースを修了する必要があります。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	http://mapnet.sssup.it/ 工学研究科 電気電子情報工学専攻 北山 研一 教授: kitayama@comm.eng.osaka-u.ac.jp 丸田 章博 准教授: maruta@comm.eng.osaka-u.ac.jp 吉田 悠来 助教: yuki@comm.eng.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	—		
特記事項	本修士コースは専従課程と捉えられるものであり、2009—2013年度エラスムス・スミスプログラムガイドに基づいて設立された欧州委員会の規定条項に厳密に従うこととなっています。		

プログラム名称	キャリアデザイン ～高度な学びを活かすキャリアパスをデザインする～		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	基礎工学研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>【プログラム概要】</p> <p>本プログラムにおいては、大学院での学びを通して得られる「高度専門知識と研究能力」の意味と価値を考え、得た高度専門知識と研究能力を「どのように職業に活かして行くか」について、先行する人々の多様なケースを学びつつ考え、議論する。加えて、高度な学びを通して身につけた知識・能力を、各自が就く職業において大いに発揮し活躍するのに必要な能力について、企業や組織の最前線で活躍する方々の講和と議論を通して学ぶ。これらを通して、将来のキャリアを考えた「受講生各自の学びのデザイン」を行う。</p> <p>【教育目標】</p> <p>①「大学院での高度専門知識と研究能力の涵養」の意味と価値を考え・知る ②「大学院で涵養した高度専門知識と研究能力」の職業への活かし方を考える ③職業人として必要な能力を涵養する ④自らの「価値」獲得目標を明確にし、自身の「キャリアをデザイン」する</p>		
履修資格・条件	なし 文系、理系を問わず、教員を交えた討論を行い、上記【教育目標】①～④に沿って学ぶ意欲を持った学生の受講を期待する。		
修了要件	下記の「キャリアデザイン」副プログラム構成科目群(6科目)から複数の科目を受講し、2年間で8単位以上を修得すること。 「高度な学びの意味を考える(2単位、3日間集中)」、「高度な学びの職業への接続を考える(2単位、3日間集中)」、「Internship on Campus(2単位)」、「知価社会論(2単位)」、「科学技術と社会(2単位、3日間集中)」、「総合科目Ⅲ(キャリアデザイン)(工学部科目、2単位)」		
ホームページ・問い合わせ先等	受講ガイダンスシステム参照 https://idiscp.osaka-u.ac.jp/gakusai/ (上記 URL もしくは、KOAN の MENU 欄最下段の学際融合教育プログラムを CLICK し LOG IN) 電話番号:06-6850-6209、FAX:06-6850-6853 E-mail:nakanishi@cep.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	下記日程で合同ガイダンスを実施します。 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)		
特記事項	なし		

プログラム名称	国際標準化		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	国際公共政策研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無（一部講義は受講人数制限あり）
プログラム概要及び教育目標	<p>【プログラム概要】</p> <p>本プログラムにおいては、様々な領域において進められているグローバルスタンダードイゼイション（国際標準化）について、日本の成長の鍵となる「国際ビジネス」と標準化の関わりについて広く学ぶことを通して「国際標準化」の意義について理解し、次に「学協会や企業活動」における具体的な標準化の取組みを学び、標準化への取組みにおいて極めて重要な役割を果たす「知的財産権」に関する知を修得し、標準化案を、複数の国の利害を超えて合意形成しまとめるプロセスにおいて大きなウエイトを占める「交渉力」について実践を交えて身につける。</p> <p>【教育目標】</p> <p>①「標準化」について、「国際ビジネス」における重要性と、「国際標準化」を策定する機関や仕組みについて学び・理解する。</p> <p>②「国際標準化」を進める際に重要となる「知的財産権」について学び、標準化との関係を理解する。</p> <p>③「学協会・企業活動」での具体的な国際標準化の取組みを学び・理解する。</p> <p>④上記学びを通して、「国際標準化」について相当の知識を有し、グローバルに活躍できる標準化マインドを持つ学生を輩出し、将来のリーダーとしての資質を備えさせる。</p>		
履修資格・条件	<p>①～③の条件等有</p> <p>① 演習科目・遠隔講義について受講人数の制限有（詳細は担当教員に確認要）</p> <p>② 早稲田大学との単位互換科目は遠隔講義（工学部）で行われる。（詳細は担当教員から連絡）</p> <p>③ 夏季集中講義科目がある。（日時と場所等の詳細は、担当教員から連絡）</p>		
修了要件	「国際標準化」副プログラム構成科目群から複数の科目を受講し、2年以内に8単位以上を修得すること		
ホームページ・問い合わせ先等	http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/gakusai/ 問合せ先：工学研究科 電気電子情報工学専攻 e-mail: staff@roms.comm.eng.osaka-u.ac.jp Tel: 06-6879-7714, Fax: 06-6879-7715		
説明会の日程	<p>合同ガイダンス</p> <p>（吹田）平成23年4月13日（水）13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール（3階）及びギャラリーゾーン（2階）</p> <p>（豊中）平成23年4月15日（金）13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール（6階）</p>		
特記事項	<p>履修希望者は、KOAN登録に先立ち、本プログラム実施責任者（小牧省三、または塚本勝俊 内線: 7714 or 7716、e-mail: staff@roms.comm.eng.oadaka-u.ac.jp）に下記事項を送付のこと。</p> <p>氏名（ふりがな）、学籍番号、電話番号、メールアドレス、履修希望科目名と科目コード。その際、件名を「高度副プログラム履修 登録」として下さい。なお、連絡が無い場合は履修できません。本副プログラム構成科目群は、学際融合教育受講ガイダンスシステム（KOANのMENU欄最下段の学際融合教育プログラムをCLICKしLOG IN）に記載されているので、参照すること。</p>		

プログラム名称	量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム		
プログラム実施部局	工学研究科		
連携部局	理学研究科、情報科学研究科、基礎工学研究科、産業科学研究所、科学教育機器リノベーションセンター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム(QED-C)在籍の留学生を対象とするプログラムを、本学の博士前期・後期課程の留学生や日本人学生に対して提供するものです。教員、留学生、日本人学生が英語での講義を通じて交流することにより、グローバル化の進む国際社会の研究機関や企業で活躍できる国際的な視野を持った研究者の育成を目指します。</p> <p>量子エンジニアリングデザイン研究は、マテリアル・デザイン、プロセス・デザイン、デバイス・デザイン手法を用いて、物質機能の科学的解明、新規材料・プロセス・デバイスのデザインや創製研究を行い、希少金属代替材料、太陽電池、水素燃料電池等の環境に優しい高効率エネルギー・省資源材料技術の開発に貢献する研究をおこなっています。このような研究は様々な分野との連携が可能であり、量子エンジニアリングデザインに関連する大学院講義を複数の研究科・専攻にまたがって受講することで、幅広い知識を身につけることができます。</p>		
履修資格・条件	博士前期・後期課程在籍者		
修了要件	<p>博士前期課程在籍者は物性物理、表面・界面物性、数値情報解析、計算科学特論Ⅰ、機能創成デザイン論、分子電子工学、物性基礎理論、ナノプラズマ工学、理論物質科学、固体電子論Ⅰ、解析力学、近接場ナノ工学、化学反応論(Ⅰ)、半導体物性論、量子材料物性論、極限精密加工学特論、計算力学特論、固体力学特論、プラズマ応用工学、量子光電子工学の中から8単位以上取得すること。</p> <p>博士後期課程在籍者は物性物理特論、表面物性特論、情報非線形数理学、計算物理特論、テクノロジーデザイン特論、先端集積エレクトロニクス工学特論、材料物性学特論、超精密加工学特論の中から8単位以上取得すること。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム事務局： 工学研究科精密科学・応用物理学専攻笠井研究室 担当：野尻 Tel:06-6879-7858 e-mail:qedc-staff@dyn.ap.eng.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	認知脳システム学		
プログラム実施部局	基礎工学研究科		
連携部局	工学研究科、人間科学研究科、医学系研究科		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>本プログラム「認知脳システム学」は、人間の hoch 認知機能(認知脳)の理解とそれに基づく情報・機械システム開発の方法論を教示することを目的としています。基礎工学研究科と工学研究科、人間科学研究科、そして医学系研究科が連携することで、学生の学際的研究能力を育成し、新しい研究や産業を自ら発案、実施できる能力を育てることを目指します。</p> <p>基礎工学研究科と工学研究科では、認知脳を構成的に理解することを目的に、生物の脳や身体、知覚機能の役割を工学的立場から考察し、またそれらをロボットシステムとして実現するのに必要な基礎技術についての講義を提供します。人間科学研究科では、人間の記憶や推論といった認知脳概念、またそれらを解明する心理学実験手法について講義します。医学系研究科では、認知機能を計測する手段としての脳イメージング技術や、その他の画像医学技術についての講義を行います。受講学生は、これらの学際的な講義を通して、新たな研究領域である認知脳システム学を推進する能力を養うことができます。また、講義の多くが英語で行われることから、国際性の向上も期待されます。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	本プログラムの科目から必修科目4単位を含む10単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>ホームページ： http://www.gcoe-cnr.osaka-u.ac.jp/ 問い合わせ先： 基礎工学研究科大学院係 06-6850-6146 ki-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及びギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階) および各研究科の新入生ガイダンス・入学ガイダンス等で実施します。 詳しい日程・場所は決まり次第、ホームページで告知します。</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	言語情報処理の手法と展開																																		
プログラム実施部局	言語文化研究科 言語文化専攻																																		
連携部局	—																																		
修了要件単位数	8単位以上																																		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無																																
プログラム概要及び教育目標	<p>情報メディアとしてのパーソナルコンピュータ、インターネットの普及により、文書・資料の電子化が急速に進み、電子テキストの量は爆発的に増大しています。これにともない、膨大な自然言語データの中から有益な情報を効率的に抽出するための情報マイニング技術の開発が学界のみならず産業界においても求められています。大規模な自然言語データを分析・活用するためには、従来の言語学、文献学の理論・方法論に加え、情報工学、統計数学、行動科学など関連領域の知見を統合した学際的なアプローチが必要となります。</p> <p>そこで、本プログラムでは、自然言語処理とコーパス言語学研究を二本の柱として、それぞれの基礎理論と応用実践の方法論を有機的に組み合わせて教授します。自然言語処理では、情報工学の基礎理論から、形式言語理論や形式論理に基づいた統語処理・意味処理・談話処理について学びます。さらに、自然言語処理モデルを計算機に実装するためのプログラミングや、言語処理ツールを駆使する技法を習得します。コーパス言語学研究では、コーパスデザインに関する理論や、TEI (Text Encoding Initiative: 言語データ電子化のため国際共通規格)、言語データ解析のための統計数理モデルに関する講義を行うとともに、実践的なコーパス分析の演習を行います。当プログラムが提供するコースワークを通して、受講生は、膨大な自然言語データの中から自分や社会のニーズに合致した情報の鉱脈を掘り当て活用する高度な情報マイニング能力を修得できるでしょう。</p>																																		
履修資格・条件	なし																																		
修了要件	自然言語処理A・Bから2単位以上コーパス言語学研究A・Bから2単位以上を取得すること。																																		
ホームページ・問い合わせ先等	言語文化研究科大学院係(豊中キャンパス) TEL 06(6850)5856 メールアドレス genbun-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp																																		
説明会の日程	—																																		
特記事項	<p>本プログラムの申請様式は(http://www.lang.osaka-u.ac.jp/)からダウンロードが可能です。</p> <p>プログラムに該当する授業の内容は、KOANのシラバスと各授業の第1回目にガイダンスがありますので、それを参考にしてください。</p> <p>なお、該当授業と講師、その第1日目の授業日・場所の予定は以下のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>自然言語処理A</td> <td>林 良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>4/11「第4演習室」</td> </tr> <tr> <td>自然言語処理B</td> <td>林 良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>10/3「第4演習室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>岩根 久</td> <td>火曜4限</td> <td>4/12「CALLセミナー室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>岩根 久</td> <td>火曜4限</td> <td>10/4「CALLセミナー室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>田畑智司</td> <td>水曜4限</td> <td>4/13「言語情報処理 LL システム室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>田畑智司</td> <td>水曜4限</td> <td>10/5「言語情報処理 LL システム室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>三宅真紀</td> <td>木曜2限</td> <td>4/14「言語情報処理 LL システム室」</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>三宅真紀</td> <td>木曜2限</td> <td>10/6「言語情報処理 LL システム室」</td> </tr> </table>			自然言語処理A	林 良彦	月曜5限	4/11「第4演習室」	自然言語処理B	林 良彦	月曜5限	10/3「第4演習室」	コーパス言語学研究A	岩根 久	火曜4限	4/12「CALLセミナー室」	コーパス言語学研究B	岩根 久	火曜4限	10/4「CALLセミナー室」	コーパス言語学研究A	田畑智司	水曜4限	4/13「言語情報処理 LL システム室」	コーパス言語学研究B	田畑智司	水曜4限	10/5「言語情報処理 LL システム室」	コーパス言語学研究A	三宅真紀	木曜2限	4/14「言語情報処理 LL システム室」	コーパス言語学研究B	三宅真紀	木曜2限	10/6「言語情報処理 LL システム室」
自然言語処理A	林 良彦	月曜5限	4/11「第4演習室」																																
自然言語処理B	林 良彦	月曜5限	10/3「第4演習室」																																
コーパス言語学研究A	岩根 久	火曜4限	4/12「CALLセミナー室」																																
コーパス言語学研究B	岩根 久	火曜4限	10/4「CALLセミナー室」																																
コーパス言語学研究A	田畑智司	水曜4限	4/13「言語情報処理 LL システム室」																																
コーパス言語学研究B	田畑智司	水曜4限	10/5「言語情報処理 LL システム室」																																
コーパス言語学研究A	三宅真紀	木曜2限	4/14「言語情報処理 LL システム室」																																
コーパス言語学研究B	三宅真紀	木曜2限	10/6「言語情報処理 LL システム室」																																

(注)「第4演習室(508室)」は言語文化研究科棟(新棟)5階、「CALLセミナー室」はサイバーメディアセンター豊中教育研究棟4階マルチメディアセミナー室、「言語情報処理 LL システム室(307室)」は言語文化研究棟(旧棟)3階です。

プログラム名称	グローバルリーダーシップ・プログラム		
プログラム実施部局	国際公共政策研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>地域医療や政治から環境、開発、人権や国際紛争まで、公共に関わる困難な問題は、原因と影響がグローバルに広がっています。このプログラムは、連携分野を通じた社会学連携を最大限に活用しつつ、国際機関、行政機関、外交、政治、企業、NGOで実際にリーダーとして活躍してきた人材を講師に迎え、グローバルな課題に取り組むリーダーシップに必要とされる考え方と方法を身につけることを目的とします。</p> <p>このプログラムの教育理念は、「学び合う。社会と学ぶ。」です。参加者には上記目標を達成するための「場」と「機会」が与えられます。対話的授業（ソクラテックメソッド）、ケーススタディ、他大学との合同模擬事例演習、合宿、音楽家とのコラボなど、参加者の主体性を引き出す教育方法も魅力です。</p> <p>よきリーダーシップのためには継続的練習（習慣づけ）が重要です。そこで、企業やNPOとの連携により、プログラムの修了生、卒業生や一般市民に対して、気づきと学習の連鎖をうながすような課外教育プログラムも提供していきます。</p>		
履修資格・条件	科目によっては、事前課題の提出、受講者人数の上限が定められる場合があり、正当な理由なく遅刻欠席をしないことが単位取得要件とされる場合があります。それぞれの科目ごとの受講要件は、シラバスを参照してください。		
修了要件	必修科目「リーダーシップを考える」及び「実践グローバルリーダーシップ」を履修すること。		
ホームページ・問い合わせ先等	国際公共政策研究科(OSIPP)GLP 事務局(野村研究室) 【E-mail】glp@osipp.osaka-u.ac.jp (GLP 事務局) 【TEL】06-6850-5629(直通) 【FAX】06-6850-5656(研究支援室)		
説明会の日程	決定次第 KOAN の掲示板で通知します。		
特記事項	2学期開講の「アジアにおける事業戦略とリーダーシップ」、「実践グローバルリーダーシップ」の履修のためには、1学期開講の「リーダーシップを考える」や「リーダーシップデザイン」の受講をすすめます。その他については各講義のシラバスを参照してください。		

プログラム名称	IT Spiral		
プログラム実施部局	情報科学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	14単位以上 (基礎科目(2科目4単位以上)、先端科目(2科目4単位以上)、実践科目(全科目=3科目6単位以上))		
履修対象者	修士(博士前期課程1年生) *他学年の希望者は問い合わせてください	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>ITSpiralは、世界最高水準のソフトウェア技術者育成システムの構築を目的とする「文部科学省:先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」の一環として、平成18年10月～平成21年3月まで実施されたプロジェクトをベースにしたプログラムです。</p> <p>ITSpiralでは、情報通信技術、特にソフトウェアの高度な技術者育成を目指しています。この実現のために、ソフトウェア分野で教育、修得すべき内容をより豊富かつ体系的・実践的に教育課程に取り組むべく、関西圏の9大学情報系研究科に分散している卓越した専門家群の力を終結し、融合連携型の専攻を構築しています。また、実践的教育を重視しており、高度な技術力を持つ企業と協働することにより、現実の開発プロジェクトを教材とした教育を実現しています。</p> <p>ITSpiralを通じて高い能力を有するソフトウェア技術者を育成していくことにより、幅広いソフトウェア設計の知識を持ち、実践的な開発演習を経験した修士課程学生を継続的に輩出することができますし、また、日本のソフトウェア産業の競争力向上に貢献しています。</p>		
履修資格・条件	<p>博士前期課程1年生(他学年の希望者はIT Spiral事務局まで問い合わせてください) ※応募者が多数の場合は、情報科学研究科 ITSpiral 事務局で選考し、受講者を決定します。</p> <p>先端科目、実践科目については、ITSpiral プログラムに選ばれた学生のみ受講が認められます。なお、先端科目、実践科目はそれぞれ単独で受講することはできませんので、注意してください。</p>		
修了要件	<p>基礎ソフトウェア工学科目 2科目4単位以上 先端ソフトウェア工学科目 全科目(2科目4単位) 実践ソフトウェア開発科目 全科目(3科目6単位) 14単位以上修得してください。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>IT Spiral 事務局 e-mail: info-it-spiral@ist.osaka-u.ac.jp http://it-spiral.ist.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>平成23年4月8日(金) 大学院情報科学研究科入学ガイダンス 但し、他研究科の学生は、IT Spiral 事務局に問い合わせてください。</p>		
特記事項	<p>基礎科目、先端科目、実践科目、その他詳細については、IT Spiral のパンフレットを参照してください。(パンフレットは IT Spiral 事務局に問い合わせてください。)</p>		

プログラム名称	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト		
プログラム実施部局	情報科学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度副プログラム「高度情報ネットワーク実践スペシャリスト」は、大阪大学の大学院生に対して、情報ネットワークに関する高度で実践的な教育プログラムを提供するものです。本プログラムは、高度な情報ネットワークの基盤技術やサービス技術の教育を提供し、情報ネットワーク分野における実践的なソフトウェア開発等も可能なスペシャリスト養成を目的とします。本プログラムでは、以下のような先進的なネットワーク技術に関する教育を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 超高速ネットワーク構成技術 - マルチメディアネットワーク技術 - モバイル通信プロトコル技術 - 情報流通プラットフォーム技術 - ネットワークソフトウェア技術 - ネットワークプログラミング技術 - ネットワーク分析技術 <p>なお、本プログラムは、本研究科が実施してきた大学院教育イニシアティブ「ソフトウェアデザイン工学教育プログラム」を発展させたプログラムのひとつでもあります。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	指定された授業科目より 8 単位以上を修得してください。また、「実践エンタープライズシステム開発」または「実践組込み開発」のいずれかを必ず修得してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 大崎 博之 准教授 Tel: 06-6879-4551, Fax: 06-6879-4554 E-mail: oosaki@ist.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	平成23年4月8日(金) 大学院情報科学研究科 専攻別ガイダンス なお、他専攻・他研究科の学生は、問い合わせ先に連絡してください。個別に対応します。		
特記事項	なし		

プログラム名称	感染症学免疫学融合プログラム		
プログラム実施部局	微生物病研究所		
連携部局	医学系研究科・免疫学フロンティア研究センター		
修了要件単位数	10単位		
履修対象者	博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>新型インフルエンザといった新興感染症や社会的に影響の大きいAIDSやマラリア等の感染症の治療法の開発には、宿主側の免疫応答の理解が欠かせません。また、近年、常在微生物による免疫系に対するインパクトが自己免疫疾患の発症に大きく寄与していることも分かってきており、こうした免疫系疾患の治療法の開発には微生物と宿主の相互作用の理解が不可欠です。こうした背景から、従来別個の学問として発展してきた感染症学と免疫学の両方に精通している研究者の育成が喫緊の課題となってきました。</p> <p>本高度副プログラムでは、そのような研究者の養成を目指して、微生物病研究所・免疫学フロンティア研究センター・医学系研究科という感染症学、免疫学のトップレベルの研究者が多数集積している有利な環境を最大限に生かした教育を行います。感染症学と免疫学の分野の第一線の講師陣が、(1) 基本概念のレクチャーと(2) 関連する領域の重要な文献に関するディスカッションという2つを1ユニットとして、プログラムを展開し、この領域で、指導的な役割を果たせる研究者の育成を実践的にを行います。</p> <p>授業科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症学免疫学融合プログラム1 4単位 通年 ・感染症学免疫学融合プログラム2 4単位 通年 ・アドバンスプログラム1 1単位 通年 ・アドバンスプログラム2 1単位 通年 		
履修資格・条件	広く生物学・医学の研究に携わっている大学院博士(後期)課程学生。		
修了要件	<p>・本プログラムは2年間の課程です。受講開始は、偶数年度・奇数年度のどちらからでも可能です。</p> <p>・感染症学免疫学融合プログラム1、2及びアドバンスプログラム1、2は全て必修であり、これらの科目10単位を全て取得することを修了の要件とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大阪大学微生物病研究所 感染症学免疫学融合プログラム推進室</p> <p>E-mail: suishin@biken.osaka-u.ac.jp</p> <p>Tel: 06-6879-8358</p> <p>Fax: 06-6879-8358</p>		
説明会の日程	<p>日時: 4月12日(火) 10時半～</p> <p>場所: 微生物病研究所(吹田キャンパス)本館1階講堂(微研ホール)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践		
プログラム実施部局	国際教育交流センター		
連携部局	言語文化研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバル化、ボーダレス化の進展に伴い、言語や文化を必ずしも共有しない人々の間でのコミュニケーションの必要性が大いに高まっています。こうした「インターカルチュラル・コミュニケーション」は、多様な価値観や思考様式への気づきを促す契機となる一方で、様々な誤解や対立を引き起こす場合もあります。本プログラムでは、現代社会の多言語・多文化化の現状やインターカルチュラル・コミュニケーションに関する基礎理論を学ぶと同時に、実際のインターカルチュラル・コミュニケーション場面で生じる問題への対処方法について、実践的な課題を通じて考えます。これらの過程を通じて多様性への自覚を促し、地球市民としての知恵と態度を涵養することが本プログラムの目標です。</p> <p>提供科目の中で、音声言語コミュニケーションや第二言語習得に関心がある人は、「言語コミュニケーション論」を、書記言語コミュニケーションに関心がある人は、「言語技術研究」を受講することを勧めます。また、言語政策や政治と社会に関心を持つ人は、「言語文化教育論」、「言語文化政策論」を受講することを勧めます。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	対象科目を履修して8単位以上取得すること。		
ホームページ・問い合わせ先等	http://www.isc.osaka-u.ac.jp 学生交流推進課 (kokusai-gakusei-ryugakusei@office.osaka-u.ac.jp 内線 3127 または 06-6879-7118)		
説明会の日程	【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及びギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階) また、対象科目の最初(および2週目)の授業の際にも、各担当者が説明します。		
特記事項	どの授業においても、受講者同士のディスカッションを歓迎します。また、このプログラムは、基本的に、専門分野が異なる受講者がともに学ぶ場を提供します。受講者は自身の専門分野について、他の受講者に対し、可能な限り明確に、かつ、平易に説明することが求められます。		

プログラム名称	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム:専門科		
プログラム実施部局	大阪大学臨床医工学融合研究教育センター		
連携部局	<ul style="list-style-type: none"> ・医学系研究科 ・歯学研究科 ・薬学研究科 ・工学研究科 ・基礎工学研究科 ・情報科学研究科 ・大学教育実践センター ・コミュニケーションデザイン・センター 		
修了要件単位数	9単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度先進医療福祉社会を築くことは、我が国の緊急課題です。そのためには、新規融合科学である「臨床医工学・情報科学融合領域」の社会に適合した発展が必須であり、決定的に不足しているこの領域の人材を育成することが急務です。</p> <p>本プログラムは、大学院博士課程学生を対象に、最先端の工学・情報科学と医学・医療の双方に精通し、社会ニーズ・医療ニーズ・患者ニーズを理解した医療技術者など、この領域の高度技術者を育成することを目的とします。具体的には、次の3つの専門コースと1群の共通科目、および入門科目を設定し、必要なカリキュラムを専門コースごとに構成します。</p> <p>(1) バイオメディカルインフォマティクスコース (2) バイオマテリアル学コース (3) 高度診断治療工学コース</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	①1つのコースの中から、講義科目 8 単位以上、および ②演習科目から 1 単位以上を修得すること。ただし、①については、8 単位のうち 4 単位以上は所属研究科外（医学系研究科においては医科学専攻と保健学専攻は別研究科とみなします。）の講義科目とします。入門科および共通科の授業科目については、コース修了要件としてはそれぞれ 2 単位までを認定します。		
ホームページ・問い合わせ先等	詳細はMEIセンターホームページをご覧ください。 http://www.mei.osaka-u.ac.jp/		
説明会の日程	学際融合教育研究センター主催の下記合同ガイダンスにて行います。 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及びギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)		
特記事項	なし		

プログラム名称	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：高度職業人育成科		
プログラム実施部局	大阪大学臨床医工学融合研究教育センター		
連携部局	経済学研究科、医学系研究科、薬学研究科、コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	(1)クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース：10単位以上 (2)分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース：11単位以上 (3)予測社会医学プロフェッショナル育成コース：11単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>臨床医工学・情報学分野の職業のプロフェッショナル教育を目指し、次の3つのコースを構成します。</p> <p>(1) クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース 「患者からはじまる医療」の確立を志向し、高い倫理観とコミュニケーション力、高度の専門的知識と技能、豊富な経験と実践力を兼ね備え、質の高い臨床研究を計画・遂行できる、良質な臨床研究専門家(臨床試験専門医、医学統計家、データマネージャー、臨床研究コーディネーターなど)の育成を目標とします。さらに、国際共同臨床試験への参画などを踏まえて、人材の国際性についても配慮し、これらの教育・指導にあたる担当者の育成を目標とします。</p> <p>(2) 分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース 医学、歯学、薬学、理学、工学、情報科学の学術的複合領域である分子イメージングの分野において、先端的知識を活用できる研究者、医師、歯科医師、薬剤師、医療技術者、企業研究者、治験計画立案者などを養成すると共に、プロフェッショナルな人材育成を目的とします。</p> <p>(3) 予測社会医学プロフェッショナル育成コース 医療環境を改善するために新しいシステムを適用しようとするとき、システム導入による影響をシミュレーションし、その結果をふまえてシステムを修正し、現場に応用します。さらにはシステム運用の結果として生じた影響を検証し問題点を克服するためのシステム修正を行います。このようなプロセスが、より良い医療システムの構築には必須です。このコースでは、公衆衛生学・実験経済学・基礎統計学を基本的に理解し、それらを融合した医療経済学を、実践的研究を通じて学ぶ場を提供します。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	<p>(1) クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース 基礎コア科目から 6 単位、専門コア科目から 4 単位以上の 10 単位以上を修得すること。副科目は修了要件に含めないが、コースの内容に関連するので、必要に応じて履修すること。</p> <p>(2) 分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース 必修科目 7 単位、選択科目から 4 単位以上の 11 単位以上を修得すること。</p> <p>(3) 予測社会医学プロフェッショナル育成コース 必修科目 7 単位、選択科目から 4 単位以上の 11 単位以上を修得すること。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>詳細はMEIセンターホームページをご覧ください。 http://www.mei.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>学際融合教育研究センター主催の下記合同ガイダンスにて行います。 (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及びギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	コミュニケーションデザイン		
プログラム実施部局	コミュニケーションデザイン・センター		
連携部局	文学研究科・グローバルコラボレーションセンター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	学部5、6年次、 修士 及び 博士	対象者制限 の有無	無
プログラム概要 及び教育目標	<p>高度専門教育を受ける大学院学生・学部5、6年次生に対して、その専門性の社会的意義を自覚させ、社会から信頼される専門家としての素養を与えるための、コミュニケーション能力の育成を図ります。</p> <p>本プログラムでは、文系、理工系、医科学系の学生の混成による教育を基本とし、異なる専門性のあいだの相互理解、自らの専門性の特質の理解、社会とのコミュニケーションの必要性の理解の獲得を目指します。またプログラムを通じて、インタラクティブな講義や実習、各種ワークショップ形式を組み込み、座学による知識の習得とは異なる観点からの教育を行います。</p> <p>1. 基礎科目「メディア技法と表現リテラシー」(2単位) 多様な分野で求められる知的表現・プレゼンテーション(コミュニケーション)の基礎的スキルを身につけるとともに、「コミュニケーションデザイン」という考え方を学習します。</p> <p>2. 選択必修科目「コミュニケーションデザイン科目及びセンターの指定する科目」(4単位以上)多様な領域におけるコミュニケーションデザインを実践的に学びます。</p> <p>3. 発展科目「領域横断・演劇創造ゼミ」(2単位) 受講生の専門性を生かした演劇を創作することを通じて、表現力と異文化理解(異なる専門性のあいだや、非専門家との間の理解を含む)の能力を習得します。発展科目は、基礎科目(2単位)と選択必修科目(4単位以上)の合計6単位以上修得後の次学期以降に履修できます。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	基礎科目(2単位), 選択必修科目(4単位以上), 発展科目(2単位)の3段階で構成される8単位以上の修得が必要です。		
ホームページ・ 問い合わせ先等	<p>問い合わせ先: コミュニケーションデザイン・センター事務局 教務担当 Tel: 06-6850-6632 E-mail: cscd@office.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://cscd.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>1. 「高度副プログラム・副専攻プログラム」の合同ガイダンス (吹田)平成23年4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)</p> <p>2. CSCD 提供科目の第1回目の授業の際に、各担当教員が説明を行います。</p>		
特記事項	<p>本プログラムの修了に必要な単位と所属専攻の修了に必要な単位との重複が認められるかどうかは、研究科・部局によって異なります。履修希望者は、事前に指導教員や所属研究科の大学院担当窓口にも必ず相談してください。</p>		

プログラム名称	金融・保険		
プログラム実施部局	金融・保険教育研究センター		
連携部局	基礎工学研究科, 理学研究科, 経済学研究科, 情報科学研究科		
修了要件単位数	8科目以上(16単位相当以上)		
履修対象者	スタンダード・プログラム: 修士 及び 博士	対象者制限 の有無	有
	アドバンスト・プログラム: 博士		
プログラム概要 及び教育目標	<p>大阪大学金融・保険教育研究センター (CSFI) は、文部科学省特別教育研究経費(連携融合)に採択された“新領域分野「金融・保険科学」に関する文理融合型教育プログラムの開発”の実施母体として、平成18年4月に発足しました。</p> <p>極めて高度化・複雑化した金融・経済システムにおいて求められる、金融・保険に関わる学際的分野でのスペシャリストを育成することを目標にし、基礎工学研究科, 経済学研究科, 理学研究科, 情報科学研究科の4研究科を学内設立母体とし、多くの民間および公的な金融機関を連携協力機関の支援のもと提供する文理融合型教育プログラムです。</p> <p>修士課程レベルに対応する [S] スタンダード・プログラムと博士課程レベルに対応する [A] アドバンスト・プログラムを持ち、さらにそれらは、それぞれ (M) 数理計量ファイナンスコース, (E) 金融経済・工学コース, (I) インシュアランス・コースの3つのコースに分かれ、最先端の学術的発展をも踏まえた教育に加え、実務家教員による実務教育にも力を入れています。</p> <p>また、CSFI における開講科目は大阪大学の大学院在学生在が受講できるほか、金融・保険の知識・スキルの修得を目差す社会人向けに、「科目等履修生高度プログラム」としても開放されています。</p>		
履修資格・条件	平成22年度以前に、大阪大学内のいずれかの大学院の博士前・後期課程に入学し、在学中の者。		
修了要件	<p>上記の3つのコースごとに、各科目を、基礎科目、専門科目、特別科目に分類しており、2種プログラムの修了要件はそれぞれ以下の通りです。各コースの科目の分類については、CSFI の教育プログラム便覧を御覧ください：</p> <p>スタンダード・プログラム：必修科目をすべて含み、基礎科目2科目以上、専門科目4科目以上、計8科目以上。</p> <p>アドバンスト・プログラム：特別科目6科目以上、計8科目以上</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>宛先：大阪大学 金融・保険教育研究センター (CSFI) 所在地：〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3 Phone: (06) 6850-6091 Fax: (06) 6850-6092 ホームページ: www-csfi.sigmath.es.osaka-u.ac.jp E-mail: csfi-questions@sigmath.es.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	平成23年度の説明会・オリエンテーションを 4月11日(月)午後6時～、豊中キャンパス法経講義棟1階第1講義室にて開催致します。		
特記事項	1・2学期とも、エントリー・出願、履修登録は所定の期間内に KOAN によって受付けます。その際、CSFI 作成の冊子(パンフレット, 教育プログラム便覧)および上記ホームページに重要な情報が掲載されていますので、御参考になさってください。また、休講・補講、集中講義の日程、等の最新の情報につきましても、ホームページに御注意ください。		

プログラム名称	グローバル共生		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、CSCD、法学研究科、国際公共政策研究科、言語文化研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバル共生社会とは、異なる文化や言語をもつ人々が相互に承認しあい共存する社会です。グローバリゼーションが進めば、共生社会の到来は当たり前になるとは限りません。民族、言語、宗教などの違いによって、紛争や差別、不安が生じることがあります。つまり、グローバル共生は自然に生まれるものではなく、人々の努力がないと実現できません。言語や文化が異なる集団が、どのようなプロセスを経て違いを認識し、それぞれの文化に対して対等に敬意をもって接することができるのでしょうか。これまでの人類社会のさまざまな経験や教訓から多角的に学ぶ必要があるでしょう。グローバル共生プログラムは、専門家と実践者、市民が協働し、グローバル共生社会のデザインを描くための理論と実践方法について学ぶプログラムです。参加型・対話型・現場でのトレーニングなどの新しい教育手法を通じて、身体を動かしながら学ぶことを主眼としています。本プログラムは、高邁な理念や理想の学習だけでなく、具体的な成果を生むことを志向した実践活動を重視します。</p>		
履修資格・条件	<p>資格や条件はありません。理系・文系を問わず、全学からの参加を歓迎します。これまで多文化共生についてあまり意識してこなかった人、グローバル共生という視点から自分の生き方をとらえなおそうと考えている人を歓迎します。「足もとの国際化」に興味をもち社会貢献をめざす学生、将来国際協力などの現場で働くことを希望する学生にも向いたプログラムです。</p>		
修了要件	<p>本プログラムが指定する必修科目2単位と選択必修科目から2単位または4単位取得することとします。選択科目から4単位以上取得します（選択科目群Bを選択する場合は、選択必修科目に関する履修単位数の上限を2単位とします）。選択科目群Bを選択する場合は、「海外インターンシップⅠ・Ⅱ」（合計2単位）もしくは「海外フィールドスタディ」（2単位）のどちらか一方のみを履修し、「フィールドワークの実践と倫理」（1単位）を同じ時期に受講してください（選択科目群Bからは合計3単位となります）。</p> <p>※「海外インターンシップⅡ」の履修は、「海外インターンシップⅠ」を履修中ないしは履修済みであることを条件とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田) 4月13日(水) 13:30-16:00 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F) (豊中) 4月15日(金) 13:30-16:00 総合図書館 図書館ホール(6F) (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	人間の安全保障と開発		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、経済学研究科、医学系研究科、工学研究科、薬学研究科、国際公共政策研究科、コミュニケーションデザイン・センター、大学教育実践センター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>現在、世界の多くの地域で、紛争や貧困などによって人々の生活が脅かされています。これらの問題の解決には、各国政府、国際機関、NGOsなどが国境を越えて積極的に活動を展開しています。本プログラムでは、紛争や貧困、そしてそれらに付随する様々な問題を読み解き、そして各々の専門知識を生かしながら、その解決に能動的に関わることでできる人材の育成を目的とします。そのためには、受講生各々の専門分野の知識に加え、人間の安全保障と開発という視点が有効です。本プログラムは、必修科目で、人間の安全保障と社会開発、そして、紛争と平和構築に関する重要な概念、イシュー、事例について概観し、さらに、受講生各々の興味に応じて選択科目を履修するように構成されています。選択科目には国際行政や国際協力に関するものから、環境や保健・衛生まで、理系・文系の枠にとらわれず、幅広く履修できるようになっています。さらに、国際協力の分野で必要ないくつかの地域言語や、フィールドワークのスキルや評価の手法も身につけることができます。</p> <p>日本人学生・留学生を問わず、将来、国際的な舞台上で活躍することを希望している人に役立つよう、英語のみでも修了可能なプログラム構成です。</p>		
履修資格・条件	資格や条件はありません。理系・文系、日本人・留学生を問わず全学からの参加を歓迎します。特に、将来、「開発」や「国際協力」に何らかの形で携わることを希望する学生に向けたプログラムです。		
修了要件	<p>本プログラムが指定する選択必修科目（2単位以上）と選択科目を合わせて8単位以上修得することとします。選択必修科目は、できる限り最初に履修してください。</p> <p>※「海外インターンシップⅡ」の履修は、「海外インターンシップⅠ」を履修中ないしは履修済みであることを条件とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 （吹田）4月13日（水）13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F) （豊中）4月15日（金）13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F) （その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します）</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	司法通訳翻訳（旧 司法通訳翻訳論）		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	法学研究科、法学部、言語文化研究科、人間科学研究科		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>21世紀の日本では、日本語を十分に解しないまま、外国人が刑事・民事・家事事件に関わる、あるいは出入国管理や難民認定での手続などに臨む事案が格段に増えています。司法通訳翻訳とは、上記のような法的場面における実務通訳や翻訳の総称です。具体的には、様々な司法ないしは行政機関や団体などが関与する業務において行われています。</p> <p>本プログラムは、そういった過程で必要不可欠な通訳翻訳について、特に、法律的手続、司法通訳翻訳人の役割や行動基準、コミュニケーションの3つに関する知識の習得や、スキルの向上の機会を提供し、また、司法通訳翻訳の在り方について考察する場を与えようとするものです。</p> <p>カリキュラムとしては、選択必修科目のほか、実務通訳翻訳の理論・訓練法・職業倫理論などに関する科目群(A)、司法領域の実務や手続に関する科目群(B)、そして特定言語組合せによる通訳翻訳実習の科目群(C)の3つの選択科目群の中から、各自の必要と関心に合わせて履修することができるようになっています。</p>		
履修資格・条件	<p>受講資格・条件は特にありません。ただし、日本語ともうひとつの言語両方の高度な運用能力があり、上記の領域での実務通訳翻訳に関心のある者を歓迎します。あるいは、法曹三者を目指したり、国家公務員、地方公務員（警察官含む）などを志望していたり、通訳を受ける当事者である外国人やその権利について関心のある者などの受講も想定しています。博士前期課程か後期課程かは問いません。</p>		
修了要件	<p>本プログラムで指定された選択必修科目のうちどちらか 2 単位と選択科目群A, B, Cの中から8単位以上、あわせて最低10単位を履修する必要があります。いくつかの科目については、履修に制限があるので、科目リストを参照してください。なお、本プログラムは昨年度「司法通訳翻訳論」と称した高度副プログラムから名称を変更したものです。昨年度本プログラムの履修を開始した人も修了書は「司法通訳翻訳」の名称で発行します。</p> <p>また、「翻訳通訳学特論A」・「翻訳通訳学特論B」・「翻訳通訳演習」の履修は、開講部局を言語文化研究科かGLOCOLのどちらかを選択してください。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 （吹田）4月13日（水）13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F) （豊中）4月15日（金）13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F) （その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します）</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	現代中国研究		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター (GLOCOL)		
連携部局	法学研究科、文学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科、人間科学研究科、言語文化研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>1990年代以降の中国市場の突出した存在感は、中国社会の変容のみならず、中国をとりまく東・東南アジアの政治的、経済的、文化的環境を大きく変容させることとなりました。こうした中国と中国をとりまく国際社会の変化を正しく理解するためには、中国近現代史や国際政治、経済学など複数の視点の獲得と、中国や台湾との国際的な学術交流ネットワークを通じた現象理解が不可欠です。本プログラムは、中国近現代史を基盤としつつ、様々な学問領域の専門家による分野横断的で多角的な対話と、中国、台湾などにおける現地実習をとりまぜ、中国の政治や経済、文化、さらには日中関係についての受講者の関心にこたえます。</p> <p>本プログラムには、中国史をはじめとする多様な分野の専門家から現代中国研究に関わる様々な論点を提示していただく「現代中国研究」、受講者がそれぞれのテーマに従って課題探求を行い、プレゼンテーションの技術を学びながら口頭発表する「中国文化コロキアム」(集中)の二つの必修科目に加えて、様々な選択科目が用意されています。</p>		
履修資格・条件	<p>資格や条件はありません。理系・文系を問わず、留学生も含めた全学からの参加を歓迎します。これまで中国についてあまり関心をもってこなかった人、中国に関心はあるが中国語に不安を感じている人を歓迎します。日中関係や東アジアの政治、経済、文化に興味をもつ学生、将来、国際協力など現場やマスメディア、企業などで幅と厚みのある実務家として働くことを希望する学生にも向いたプログラムです。</p>		
修了要件	<p>本プログラムが指定する基礎科目(必修)4単位と選択科目4単位以上を修得することとします。なおプログラムの修了要件科目が研究科の修了要件科目と重複する場合の必要単位数の計算方法は、それぞれの研究科の履修要件に従うこととします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田) 4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F) (豊中) 4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F) (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	国連政策エキスパートの養成		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター		
連携部局	国際公共政策研究科、医学系研究科、薬学研究科、人間科学研究科、CSCD		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>国連システムは、平和と安全、開発、人権の分野から、保健、環境まで多様な分野の専門機関も含め構成されており、ニューヨーク、ジュネーブ他の本部及び全世界のフィールドで活動しています。</p> <p>現在、国連への財政貢献に関し日本はアメリカに次いで第二位となっていますが、その財政貢献に比較し国連で働く日本人職員の数が増えていないことがかねてから指摘されています。</p> <p>国連では、多くの場合経験を積んでいる専門家が即戦力として求められており、学生が卒業後直後に国連で働ける機会は非常に限られています。しかしながら、大学時代はキャリアの方向性を定める重要な時期であり、関心分野の知識を深め、大学卒業後もその分野で実務経験を積みことによって、将来的に国連においてキャリアを得る可能性が高まります。</p> <p>本プログラムは、将来的に国連をはじめとする国際公共セクターでのキャリアを志向する学生に対し、諸課題の基礎知識、実践的ノウハウ及び海外インターンシップの機会を提供し、理系・文系を問わない幅広い教養とグローバル化した世界の現実に対する深い理解を涵養するための教育を行います。</p>		
履修資格・条件	資格や条件はありません。		
修了要件	<p>本プログラムが指定する選択必修科目(2単位)と選択科目を合わせて8単位以上取得することとします。選択必修科目は、できる限り最初に履修してください。</p> <p>※選択科目群Bの受講は3単位を上限とします。</p> <p>※選択科目群Bの「海外インターンシップⅠ・Ⅱ」もしくは「海外フィールドスタディ」を受講する者は「フィールドワークの実践と倫理」を合わせて受講してください。</p> <p>※「海外インターンシップⅡ」の履修は、「海外インターンシップⅠ」を履修中ないしは履修済みであることを条件とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター</p> <p>Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444</p> <p>E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp</p> <p>ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】</p> <p>(吹田) 4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F)</p> <p>(豊中) 4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F)</p> <p>(その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	グローバル健康環境		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター		
連携部局	薬学研究科、医学系研究科、国際公共政策研究科、人間科学研究科、工学研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>近年、薬・食の安全性、新興・再興感染症や院内感染の問題、地球温暖化や大気・土壌・水質汚染といった地球規模での環境問題と、環境の変化が人間の心身の健康に及ぼす影響に関する懸念が高まっています。</p> <p>本プログラムでは、健康に影響を与える物質的・社会的環境問題を理解し、それぞれの専門知識を生かしながら、その解決方法を導くことのできる人材を育成することを目標とします。</p> <p>また、海外体験型学習プログラムを組み込み、食環境、住環境、自然環境、社会環境を含めた環境の変化が人間の心身の健康に及ぼす影響を、グローバルな視点から具体的に考察できるような場を設けます。</p> <p>本プログラムは、必修科目で、人間を取り巻く物質的・社会的環境とその健康影響に関して、基盤となる重要な知識を習得したうえで、受講生各々の興味に応じて選択科目を履修するように構成されています。選択科目には国際健康政策や国際協力に関するものから、環境工学、健康科学まで、理系・文系の枠にとらわれず、幅広く履修できるようになっています。</p>		
履修資格・条件	資格や条件はありません。		
修了要件	<p>本プログラムが指定する必修科目、選択必修科目、選択科目を合わせて8単位以上取得することとします。ただし、必修科目と選択必修科目で6単位以上取得してください。必修科目は、最初に履修してください。</p> <p>※国連政策エキスパート・キャリア形成論と特殊講義(国連政策エキスパー・キャリア形成論)に関しては、いずれかを選択すること。(併願不可)</p> <p>※薬学研究科所属で海外フィールドスタディ科目を受講希望の場合は、応用環境生物学特別講義を選択してください。</p> <p>※「海外インターンシップⅡ」の履修は、「海外インターンシップⅠ」を履修中ないしは履修済みであることを条件とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター</p> <p>Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444</p> <p>E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp</p> <p>ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】</p> <p>(吹田) 4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F)</p> <p>(豊中) 4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F)</p> <p>(その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	医療通訳		
プログラム実施部局	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、医学系研究科、言語文化研究科、コミュニケーションデザイン・センター、薬学研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>外国人登録者は約200万人を越し、海外から日本に入国する外国人旅行者も増えています。外国人に対する診療の必要性が高まり、外来および入院病棟での病歴、主訴、診断告知、治療方針などの正確な説明や、手術やガン告知などのインフォームド・コンセントなど、医療現場におけるプロフェッショナルな通訳者に対するニーズは急激に増大しています。日本語のできない外国人に対して、日本人と同水準の医療を提供するためには、保健医療分野に造詣の深い通訳者の専門性が求められています。</p> <p>本プログラムでは、①医療通訳を行うための基本的な保健医療知識を学び、②医療通訳の実践のための言語とコミュニケーションの技術を身につけ、③医療通訳士の役割や倫理について理解することをめざしています。</p> <p>カリキュラムとしては、医療通訳に関する理論と実践活動の概論を必須選択科目とし、受講者の関心に応じて、言語とコミュニケーションの技術、基本的な保健医療知識が習得できます。</p>		
履修資格・条件	<p>受講資格・条件は特にありません。日本語と通訳対象となる言語に関して高度な運用能力のある人、あるいは、日本人の保健医療関係者、外国人の保健医療関係者など、医療通訳に関心のある方を歓迎します。また、病院やNGOなどにおける医療通訳コーディネーターの方などの受講も想定しています。</p>		
修了要件	<p>本プログラムが指定する必修科目(4単位)と選択必修科目を合わせて8単位以上修得することとします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel.: 06-6879-4442 Fax: 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ: http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田) 4月13日(水) 13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3F)およびギャラリーゾーン(2F) (豊中) 4月15日(金) 13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6F) (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載します)</p>		
特記事項	—		

プログラム名称	サステナビリティ学		
プログラム実施部局	環境イノベーションデザインセンター		
連携部局	工学研究科、人間科学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科、法学研究科、基礎工学研究科、CSCD、医学系研究科		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEIDS)では地球社会を持続可能なものへと導くビジョンの構築と、その基礎となる新しい学術「サステナビリティ学」を創成することを目指し、サステナビリティに関連する多様な学術領域を統合する研究を目指すとともに、サステナブルな社会の構築をめざして様々な分野で活躍できる専門家の育成を目指してサステナビリティ学教育プログラムを設立しました。当プログラムは、CEIDSの専任・兼任教員を中心とした講師陣による科目群で構成されており、サステナビリティに関連する様々な学問領域の俯瞰的・構造的な理解をコアとした構成となっています。とくにコア科目の中では、グループワークやディスカッションの機会を設け、理論のみではなく実践力を身につけさせる構成としています。また当プログラムでは実地見学や短期プログラムなどを実施し、現場にいる人たち、他大学との学生と交流する機会も提供します。当プログラムを通じて、大阪大学の学生がサステナビリティ学の俯瞰的見識を身に付けたそれぞれの専門家として、広く社会で活躍することを期待しています。</p>		
履修資格・条件	理系・文系を問わず全学からの学生を歓迎します。		
修了要件	<p>1. サステナビリティ学科目群(必修選択コア科目4科目、選択科目29科目の中から4科目8単位を履修します。</p> <p>2. 先導科目2科目、先端科目1科目、学域1科目のうち2科目を選択必修とします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>担当:東海 明宏、上須 道徳 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 先端科学イノベーションセンター先導的研究棟6F Tel 06-6879-4150 E-mail:edu@ceids.osaka-u.ac.jp URL: http://www.ceids.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>【まちづくりデザイン学、学際光科学との合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月6日(水)14時40分～ 先導的研究棟2F会議室 (豊中)平成23年4月8日(金)13時～ 基礎工学部D404-408教室</p> <p>【学際融合教育研究センター主催の合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水)13時30分～16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金)13時30分～16時 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	<p>本センターは東京大学、京都大学、北海道大学、茨城大学と連携し、SSC 共同プログラムを開講しています。選択必修科目「Frontier of Sustainability Science」を含むプログラム科目を計 10 単位以上修得された方には高度副プログラムに加えて、SSC 共同プログラムの認定証が授与されます(詳しくは URL を参照ください)。サステナビリティ学を通じて皆さんのそれぞれの研究が持続可能な社会構築とどのように結びつくのか、ぜひ探求してください！</p>		

プログラム名称	「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育)」 【略称:ナノ高度学際教育研究訓練(前期課程)】		
プログラム実施部局	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高压電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター、レーザーエネルギー学研究センター		
修了要件単位数	9単位以上		
履修対象者	修士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学大学院の各部局で従来個別に実施してきた学際性の極めて強いナノサイエンス・ナノテクノロジーに関連する大学院講義を部局横断型に再編統合し、複数の高度学際教育プログラムを編成してあります。これらの高度学際教育プログラムの履修により、従来の専門領域に加えてナノサイエンス・ナノテクノロジーの体系化された幅広い知識を修得させ、よって有能なナノ関連分野の基礎研究開発能力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>カリキュラム構成は、ナノサイエンス・ナノテクノロジーに関わる学生が広く聴講すべき講義群を5つのコースに再編し、基盤講義(基盤講義群)、個々の分野の専門性が強い講義(専門講義群)、及び、研究者として巣立つための講義群(アドバンス講義群)に分類して、これに社会におけるナノテクノロジーの活用実例や社会受容における課題を講義するナノテクキャリアアップ特論(必修、吹田・豊中遠隔中継)、同デザイン特論A、B、および同社会受容特論A(選択科目、土曜開講、吹田、豊中、中之島遠隔中継)を加えて、全学の学生に対して履修を推奨します。このプログラムでは講義のみならず夏期集中で部局横断的な演習、実験を含めた高度実習訓練(約30課題で選択コースの実習は必修)を行うことを特徴としています。</p> <p>大学院博士前期課程向けの高度学際教育プログラムとして、以下の5つのコースを平成23年度に実施します。</p> <p>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノ材料学 ③ 超分子ナノバイオプロセス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学 ⑤ ナノフォトニクス学</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	本プログラム修了認定には、1つのコースの中から講義科目8単位(うち所属の専攻または領域の授業科目にない講義科目(「ナノテクキャリアアップ特論」、「ナノテクノロジーデザイン特論 A、B」、「ナノテクノロジー社会受容特論 A」を含めてよい)4単位以上を含む)、および集中実習科目1単位を修得する必要があります。ただし、修得した単位のうち最低4単位は、所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行ってください。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載してください。 ナノプログラム事務局:豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス:nano-program@insd.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-6398 ホームページ:http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)		
説明会の日程	<p>「ナノサイエンスデザイン教育研究センター プログラム説明会」 【吹田キャンパス】 H23.4.11(月)12:10-12:50 工学研究科U2-214(U棟2階) 【豊中キャンパス】 H23.4.12(火)12:10-12:50 基礎工学研究科G509(G棟5階) H23.4.14(木)12:10-12:50 理学研究科H601 セミナー室(H棟6階)</p> <p>「高度副プログラム・副専攻プログラム合同ガイダンス2011」 【吹田キャンパス】 H23.4.13(水)13:30-16:00 理工学図書館 図書館ホール(3階) およびギャラリーゾーン(2階) 【豊中キャンパス】 H23.4.15(金)13:30-16:00 総合図書館 図書館ホール(6階)</p>		
特記事項	2年度にまたがる履修を認めます。		

プログラム名称	「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)」 【略称:ナノ高度学際教育研究訓練(後期課程社会人)】		
プログラム実施部局	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高圧電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター、レーザーエネルギー学研究センター		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	博士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>博士課程におけるプログラムでは、将来の研究リーダーとして、ナノ関連の複数分野の最新科学技術を選択的に導入し統合する能力と見識の涵養、技術の社会受容の重要性を十分に認識した研究の立案や推進などの研究統括能力の育成を目指しています。そこで、ナノサイエンス・ナノテクノロジー関係に現在従事しているか、将来従事したいと考えている社会人特別選抜学生が、主専攻以外に付加価値としてナノテクの深化や多様化について副専攻的に受講することは、上記の視点で大いに役立つものと考えられます。また、社会人DCの場合、遠隔地勤務ではスクーリングによる講義受講・討論等は難しく、遠隔講義システムによるサテライト教室での受講は本人の負担を軽減することにも繋がります。</p> <p>そこで、本高度副プログラムでは、現在社会人教育向けに開講されている講義群を社会人特別選抜学生にも開放し、下記4コースの中から1つのコースを選んで遠隔受講を許可し、土曜集中講座(社会受容特論A、デザイン特論A/B)、スクーリング実習も合わせて聴講可とするものです。</p> <p>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノ材料学 ③ 超分子ナノバイオ・フォトニクス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学</p>		
履修資格・条件	博士後期課程に在学する社会人特別選抜学生を対象とし、主に職場の関係で来学が困難な社会人学生が中之島センターの教室、または遠隔講義システムを利用してサテライト教室にてライブ受講することが条件です。なお、来学可能な場合は吹田、豊中両キャンパスの遠隔教室での受講も可能です。		
修了要件	本プログラムの修了認定には、上記のコース群から1つのコースを選び、「ナノテクノロジー社会受容特論」(1単位)、「ナノテクノロジーデザイン特論A、B」(各2単位)を含めて10単位以上を修得することが必要です。なお、取得した単位の内、4単位を超える部分については指導教員の認定を得られれば、所定の手続きを経て修了要件単位に組み入れることができます。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行ってください。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載してください。</p> <p>ナノプログラム事務局:豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス:nano-program@insd.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-6398 ホームページ:http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)</p>		
説明会の日程	<p>下記日時に説明会を開催しますが、4月1日より開講のため、事前の説明会はおこないません。随時ナノプログラム事務局へ問い合わせてください。講義内容等は、ナノプログラムのホームページ上に掲載されている社会人教育の項を参照してください。</p> <p>【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水) 13:30-16:00 理工学図書館 図書館ホール(3F) (豊中)平成23年4月15日(金) 13:30-16:00 総合図書館 図書館ホール(6F)</p>		
特記事項	2年度にまたがる履修を認めます。		

プログラム名称	「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程教育研究訓練プログラム)」 【略称:ナノ高度学際教育研究訓練(後期課程)】		
プログラム実施部局	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高压電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター、レーザーエネルギー学研究センター		
修了要件単位数	8単位以上		
履修対象者	博士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>所属研究科の博士研修(主専攻)とは別に副プログラムとして付加的に受講する教育研究訓練プログラムで、主専攻の研究以外に複眼的に幅広く企業の研究開発手法を経験したり、異分野の研究を経験することにより、博士人材として必要なスキルアップを図ることができます。将来、ナノサイエンス・ナノテクノロジーの分野の教育研究開発に携わる場合に不可欠な知識を身につけるために、講義と討論からなる土曜集中講義「ナノテクノロジー社会受容特論」(必修)、「ナノテクノロジーデザイン特論A, B」(いずれか1科目必修)を修得すると同時に、以下の2種類のプログラム(1年間にわたる週1回の教育研究訓練)のいずれかを選択して履修します。</p> <p>1.「産学リエゾンPAL教育研究訓練」 産学リエゾンPAL教育研究訓練は、1週間に1回程度(集中の場合もあり)の割で企業併任特任教授と学内教員の共同指導の下に、企画討論、研究実施、中間報告、企業でのインターンシップ、企業の若手研究者との交流等を経て、最終報告書作成に至る1年間の長期プログラムです。次段階の研究訓練では、より企業との共同研究的色彩が強くなります。</p> <p>2.「高度学際萌芽研究訓練」 高度学際萌芽研究訓練は、1週間に1回程度(集中の場合もあり)の割で学内教員の指導の下に、異分野の大学院生がナノサイエンスラボラトリーに集まって、企画討論、研究実施、中間報告等を経て、最終報告書作成に至る1年間の長期プログラムです。</p>		
履修資格・条件	なし		
修了要件	「産学リエゾンPAL教育研究訓練」(5単位)あるいは「高度学際萌芽研究訓練」(5単位)のいずれかを選択し、同時に「ナノテクノロジー社会受容特論」(1単位:必修)、「ナノテクノロジーデザイン特論A, B」(2単位:いずれか1科目必修)を組み合わせ、8単位以上を修得することが必要です。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載してください。</p> <p>ナノプログラム事務局:豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス:nano-program@insd.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-6398 ホームページ:http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)</p>		
説明会の日程	<p>【合同ガイダンス】 (吹田)平成23年4月13日(水) 13:30-16:00 理工学図書館 図書館ホール(3F) (豊中)平成23年4月15日(金) 13:30-16:00 総合図書館 図書館ホール(6F) 上記とは別にテーマ説明会を開催予定です。詳しくは上記ナノプログラムホームページを参照のこと。</p>		
特記事項	<p>いずれのプログラムも、所属研究科の博士研修(主専攻)とは別に副プログラムとして付加的に受講するものですので、十分な意欲が必要であり、現在博士後期課程1, 2年に在学中が最もふさわしい時期と言えます。希望者は本プログラムの趣旨とテーマ内容の概要を参考にして、説明会開催時期、課題内容、履修条件などの詳細をホームページ上で必ず確認の上、説明会での指示に従って主専攻の指導教員の許可を得て、添付の履修申請書(後期課程用)をナノプログラム事務局へ直接提出してください。2年度にまたがる履修を認めます。</p>		

プログラム名称	知的財産法を修得した人材育成		
プログラム実施部局	知的財産センター		
連携部局	法学研究科		
修了要件単位数	10単位以上		
履修対象者	修士 及び 博士	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>「知的財産立国」が国家目標とされている現在、日々生み出される知的財産を活用・発展させることのできる人材が求められています。そこで、本プログラムは、理系・文系を問わず、様々な領域の研究を行っている大学院生に対して知的財産法の高度な教育を提供することにより、知的財産法に関する知識・理解を社会の発展に役立つように駆使することのできる各分野における専門家を育成することを目指しています。具体的には、以下の科目を開講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特許法1」(4単位) [必修科目] ・「意匠法1」(2単位) ・「商標法1」(2単位) ・「不正競争防止法」(2単位) ・「著作権法概論」(2単位) [必修科目] ・「産業財産権法特論」(2単位) ・「産業財産権法基盤」(2単位) ・「産業財産権関係条約1」(2単位) ・「産業財産権法分析1」(2単位) <p>本プログラムの科目は、大阪大学中之島センターにおいて、平日夜間(「産業財産権法基盤」を除く)に開講されます。「産業財産権法基盤」は、夏休みの土曜日に集中的に開講されます。</p>		
履修資格・条件	<p>本プログラムの科目は、基本的に双方向的な授業方法で行われますので、受講生は欠席・遅刻しないことが必要です。成績は、平常点2割、期末試験(筆記試験)8割で評価します(ただし、演習科目である「産業財産権法特論」及び「産業財産権法分析1」については、平常点4割、期末試験6割で評価します)が、欠席に関しては、理由の如何を問わず、欠席回数4回(「特許法1」については、8回)を超える場合は不合格とします。また、遅刻に関しては、3回の遅刻で1回の欠席として扱い、15分以上の遅刻は欠席として取り扱います。</p> <p>授業は、受講生が知的財産法の基礎的な知識を有していることを前提として進められますので、本プログラムを受講しようとする方は、事前に、知的財産法の基礎的な知識を取得しておくようにしてください。たとえば、知的財産法の教科書を少なくとも1冊は読んでおいてください。また、各回の授業について、受講生は予習・復習を各2時間程度行うことが求められることに注意してください。</p> <p>本プログラムの科目のうち、「産業財産権法基盤」、「産業財産権関係条約1」及び「産業財産権法分析1」は、「特許法1」、「意匠法1」及び「商標法1」を履修済みであることを履修資格としています。その他の履修資格等については、KOANのシラバスを参照してください。</p> <p>なお、本プログラムは、弁理士試験短答式一部科目免除制度に対応するものではありません。</p>		
修了要件	対象科目から、10単位以上を取得してください。「特許法1」及び「著作権法概論」は必修科目ですので、必ず履修してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	大阪大学知的財産センター(中根 孝司) TEL 06(6850)5908 FAX 06(6850)6593 E-MAIL nakanet@iprism.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知的財産センターの単独説明会 平成23年4月1日(金)18時から19時まで 中之島センター 2F(講義室1) 2. 合同ガイダンス (吹田)平成23年4月13日(水)13時30分~16時 理工学図書館 図書館ホール(3階)及び ギャラリーゾーン(2階) (豊中)平成23年4月15日(金)13時30分~16時 総合図書館 図書館ホール(6階) 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> * 本プログラムの全ての科目について、受講人数の制限が設けられています。詳細は、KOAN登録の前に、担当教員に確認してください。 * 本プログラムの科目の内容は、KOANのシラバスと各科目の第1回目の授業時にガイダンスがありますので、それを参考にしてください。 * 本プログラムの科目を履修しようとするときは、やむを得ない事情がある場合を除き、第1回目の授業に必ず参加してください。 		

各プログラムの詳細については「プログラム紹介」の各プログラムの問い合わせ先にご照会下さい。

発行者：大阪大学学生部（担当：学務課学務係）

〒565-0871 吹田市山田丘 1-1 tel：06-6879-7107



OSAKA UNIVERSITY



001003

この用紙は人類環境浄化のため
再生紙を使用しています。